

医療・健康情報を中心とする個人情報提供に関する寛容度と不安  
— 日米独 3 国国際比較調査

Survey on the Attitude toward the Provision of Personal Information  
: Cross-National Comparison among Japan, the United States and Germany

橋元 良明      HASHIMOTO, Yoshiaki      河井 大介      KAWAI Daisuke

橋田 浩一      HASHIDA, Koiti

目次

0. 調査の目的と概要	
0.1 調査の目的.....	橋元 良明
0.2 方法、概要.....	河井 大介
1. 医療・健康情報の提供.....	橋元 良明
1.1 医療・健康情報の取得情報源（問2）	
1.2 医療・健康情報提供に際して重要視する事柄（問13）	
1.3 医療・健康情報提供に <b>同意するに際して</b> 重要視する事柄（問14）	
1.4 医療・健康情報について抵抗感をもつ事柄（問20）	
1.5 医療分野にかかわるサービス・アプリを利用する場合に考えられる懸念や利用しない理由（問21）	
1.6 医療・健康情報の不安軽減策の効果（問23）	
2. 個人情報の提供.....	河井 大介
2.1 テーマ別個人情報の提供意向（問7）	
2.2 テーマ別大規模情報活用のメリット有無認知（問9）	
2.3 テーマ別情報活用のリスクと期待のバランス（問12）	
2.4 個人情報活用と同意・取扱認否（問8）	
2.5 第三者提供への同意（問10）および同意の条件（問11）	
3. 情報公開の許容度、プライバシー侵害に関する不安.....	河井 大介
3.1 情報公開の許容度（問15）	
3.2 ネット上のトラブルに関する不安（問16）	
3.3 プライバシー侵害に関する不安（問22）	

#### 4. その他

4.1 先進医療サービスの利用意向（問3、問4）.....	河井 大介
4.2 健康習慣（問18）.....	河井 大介
4.3 医療・健康情報の関する不満等（問19+問17(7)）.....	橋元 良明
4.4 クラウドサービスの利用と信頼（問5、問6）.....	河井 大介
<補足資料>	
質問票と単純集計結果.....	河井 大介

---

橋元 良明 東京大学大学院情報学環  
河井 大介 東京大学大学院情報学環  
橋田 浩一 東京大学大学院情報理工学系研究科ソーシャル ICT 研究センター

本報告は JSPS 科研費 15H02517 の助成を受けたものです。2015 年度—2017 年度科学研究費助成研究「個人を中心とするヘルスケアデータの活用に関する研究」（研究代表者：橋田浩一）。

## 0. 調査の目的と概要

### 0.1 調査の目的

個人情報保護法制定の世界的潮流やプライバシー意識の向上等を背景として 2003 年 5 月に「個人情報の保護に関する法律（略称：個人情報保護法）」が成立し、2005 年 4 月には全面施行された。さらに「改正個人情報保護法」が 2016 年 12 月に閣議決定され、2017 年 3 月には全面施行となる。

法的にも、国民の意識としても個人情報保護に対して厳格化が進む一方で、産業や医療の様々な領域で、匿名化された個人情報を活用し、社会や生活、学術に生かそうという動きが活発化している。いわゆるビッグデータの活用もその中で重要な課題になる。

科学研究費助成研究「個人を中心とするヘルスケアデータの活用に関する研究」（研究代表者：橋田浩一）では、ヘルスケア等において価値の高いサービスを実現し、現場で運用するシステムの構築に関する研究を進めているが、その前提として、個人データの管理・提供に関する意識の実態、個人データを活用したサービスの社会的受容を高めるための条件を明らかにすることが必要となる。

以上に鑑み、筆者等は、アンケートによる国際比較調査によって下記の項目を明らかにすることを試みた。

- (1) 医療・健康情報の提供に際して何を重要視し、どのような条件下で提供に同意するか。
- (2) 医療・健康情報の取扱いに関して不安をいだくのはどのような事柄か。
- (3) 一般的に自らの個人情報を提供する場合、どのような目的であれば提供に同意するか。
- (4) どのような個人情報なら提供を可とするか。
- (5) どのような領域において個人情報を活用するメリットを感じるか。
- (6) 第三者提供に対して同意する条件はどのようなものか。
- (7) プライバシーの侵害について、どのようなことに不安を感じるか。

さらに付随的に下記についても明らかにしようと試みた。

- (8) ネット利用において、どのようなことに不安を覚えるか。
- (9) 先進医療サービスのいくつかについて、利用意向はあるか。
- (10) 医療・健康に関して一般的に抱く不満はどのようなことか。
- (11) 日頃どのような健康の維持増進行動を行っているか。
- (12) 今後、ヘルスケアに関する情報を授受するにあたって、現状でクラウドサービスをどの程度利用し、またどの程度信頼しているか。

なお、本報告の分析において、選択肢が4択または5択であった場合、日本人の回答は両極の選択肢の選択比率が低く、中間の選択肢に偏る傾向があるため、基本的に、いずれの質問においても、肯定的回答／否定的回答の2値の値で比較し、検定をかけている。

また、標本母集団が異なる異国間データについて、異国間の統計的検定を施すことには様々な意見があるが、本報告では一つの参考情報として、3国間の $\chi^2$ 自乗検定および残差分析を行っている。

## 0.2 方法、概要

医療・健康情報に関する利活用に関する意識を国際比較するため、日本、アメリカ、ドイツでインターネット調査を行った。調査はそれぞれの国で20～69歳の男女に対し、10歳刻み、男女同数の10セルでのクォーターサンプリングを行った。調査は2016年11月15日(火)～20日(日)に実施し、それぞれ1,550サンプル、合計4,650サンプルを回収した(表0.2.1)。質問項目は、医療・健康情報の提供、個人情報の提供、情報公開の許容度、プライバシー侵害に関する不安等、合計28問である。

表0.2.1 クォータごとの回収数(人)

		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	合計
日本	男性	155	155	155	155	155	755
	女性	155	155	155	155	155	755
	合計	310	310	310	310	310	1,550
アメリカ	男性	155	155	155	155	155	755
	女性	155	155	155	155	155	755
	合計	310	310	310	310	310	1,550
ドイツ	男性	155	155	155	155	155	755
	女性	155	155	155	155	155	755
	合計	310	310	310	310	310	1,550
合計	男性	465	465	465	465	465	2,325
	女性	465	465	465	465	465	2,325
	合計	930	930	930	930	930	4,650

## 1. 医療・健康情報の提供

本章では、まず医療・健康情報の取得情報源について結果を見た後（問 2）、医療・健康情報提供に際して重要視する事柄（問 13）、提供に**同意する**にあたって重視する事柄（問 14）、医療健康情報について抵抗感をもつ事柄（問 20）、医療分野にかかわるサービス・アプリを利用する場合に考えられる懸念（問 21）、医療・健康情報の不安軽減策の効果（問 23）について検討する。

※なお、0.1 で述べたように、本報告の分析において、選択肢が 4 択または 5 択であった場合、日本人の回答は両極の選択肢の選択比率が低く、中間の選択肢に偏る傾向があるため、基本的に、いずれの質問においても、肯定的回答／否定的回答の 2 値の値で比較し、検定をかけている。

また、標本母集団が異なる異国間データについて、異国間の統計的検定を施すことには様々な意見があるが、本報告では一つの参考情報として、3 国間の  $\chi$  自乗検定および残差分析を行っている。

### 1.1 医療・健康情報の取得情報源（問 2）

表 1.1.1 は、医療・健康情報の取得情報源先について、「1. (情報を得ることが) よくある」「2. たまにある」を合わせた肯定的回答比率を示したものである（他の選択肢は「3. あまりない」「4. まったくない」）。

表中※印欄に示されたアスタリスクは  $\chi^2$  検定の結果（いずれも行、すなわち横での比較）を示し、太字は残差分析で有意に高く、赤字は有意に低いことを表す（以下、アスタリスクの意味は 1 章を通じて共通）。

国別に見た場合、日本はテレビ (75.5%)、パソコン・タブレットからのネット情報 (71.7%) が多く、米国はパソコン・タブレットからのネット情報 (65.9%)、家族 (57.5%)、ドイツはパソコン・タブレットからのネット情報 (65.5%)、家族 (57.6%) が多い。

3 国で比較した場合、**日本はパソコン・タブレット、テレビ**が他国に比べ数値が高く、**アメリカはスマートフォン・従来型携帯電話からのネット情報 (42.5%)** が多い。ドイツは他国との比較で**雑誌 (38.8%)、病院のパンフレット (37.5%)、新聞 (37.4%)** が多い。

日本の回答を性別に見た場合、ラジオを除くほとんどの媒体で有意に男性より女性の方が、その媒体から取得することがよくあると答えており、最も回答率が高いのがテレビ (82.3%) である。

日本の回答を年齢層別に見た場合、**20 代・30 代はスマートフォン・従来型携帯からのネット情報**（それぞれ 63.5%、50.3%）が多い。**40 代は雑誌 (33.5%)、50 代は友人知人 (52.9%)、新聞 (42.3%)** の比率が高いことが特徴的である。**60 代はテレビ (83.5%)、パソコン・タブレットからのネット情報 (78.4%)、家族 (60.6%)、新聞 (60.3%)** の回答比率が高い。

表 1.1.1 医療・健康情報の取得情報源

	日本				日本			日本					※
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	
パソコン・タブレットからのネット情報	<b>71.7%</b>	<b>65.9%</b>	<b>65.5%</b>	***	<b>67.4%</b>	<b>76.0%</b>	***	<b>66.5%</b>	68.1%	71.3%	74.2%	<b>78.4%</b>	**
スマートフォン・従来型携帯電話からのネット情報	40.2%	<b>42.5%</b>	<b>37.0%</b>	**	<b>35.5%</b>	<b>44.9%</b>	***	<b>63.5%</b>	<b>50.3%</b>	39.0%	<b>31.6%</b>	<b>16.5%</b>	***
テレビ	<b>75.5%</b>	<b>43.3%</b>	<b>45.9%</b>	***	<b>68.8%</b>	<b>82.3%</b>	***	71.6%	<b>70.0%</b>	73.5%	79.0%	<b>83.5%</b>	***
ラジオ	<b>15.8%</b>	<b>29.1%</b>	<b>28.3%</b>	***	<b>17.8%</b>	<b>13.8%</b>	*	12.9%	12.6%	14.8%	19.4%	19.4%	*
新聞	36.3%	<b>32.6%</b>	<b>37.4%</b>	*	35.1%	37.5%	ns	23.5%	<b>20.6%</b>	34.8%	<b>42.3%</b>	<b>60.3%</b>	***
雑誌	<b>28.2%</b>	<b>35.8%</b>	<b>38.8%</b>	***	<b>23.4%</b>	<b>33.0%</b>	***	<b>21.9%</b>	26.1%	<b>33.5%</b>	30.0%	29.4%	*
家族	<b>54.1%</b>	57.5%	57.6%	ns	<b>46.5%</b>	<b>61.7%</b>	***	<b>48.4%</b>	53.5%	58.5%	54.2%	<b>60.6%</b>	*
友人・知人	<b>47.6%</b>	50.3%	51.3%	ns	<b>37.3%</b>	<b>57.9%</b>	***	<b>40.6%</b>	44.8%	47.7%	<b>52.9%</b>	51.9%	*
病院のパンフレット	<b>29.3%</b>	33.9%	<b>37.5%</b>	***	<b>23.2%</b>	<b>35.4%</b>	***	<b>19.7%</b>	<b>24.2%</b>	27.4%	31.6%	<b>43.5%</b>	***
それ以外のパンフレット	<b>12.5%</b>	<b>25.0%</b>	<b>26.5%</b>	***	<b>10.2%</b>	<b>14.8%</b>	**	9.7%	11.6%	15.2%	12.9%	13.2%	ns
フリーペーパー・チラシ	<b>11.8%</b>	<b>24.7%</b>	<b>23.8%</b>	***	<b>8.1%</b>	<b>15.5%</b>	***	11.3%	13.2%	12.6%	11.0%	11.0%	ns
保険会社の外交員	<b>5.2%</b>	<b>29.7%</b>	<b>14.2%</b>	***	<b>5.7%</b>	<b>4.8%</b>	ns	5.5%	5.2%	5.5%	5.8%	4.2%	ns

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[よく+たまにある/あまり+まったくない]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001

残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。

各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

## 1.2 医療・健康情報提供に際して重要視する事柄(問13)

表 1.2.1 は医療・健康情報を提供するに際して、重要視する事柄を尋ねた質問に対する結果である。表中の数値は「1.非常に重視する」「2.ある程度重視する」を合わせた「重視する」比率を示したものである(他の選択肢は「3.どちらでもない」「4.あまり重視しない」「5.まったく重視しない」)。

表 1.2.1 医療・健康情報を提供するに際して重視する事柄

	日本				日本			日本					※
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	
適切な同意取得	<b>76.6%</b>	<b>80.6%</b>	78.3%	*	<b>71.9%</b>	<b>81.3%</b>	***	75.5%	<b>72.3%</b>	73.5%	80.6%	<b>81.0%</b>	*
適切な情報の取り扱い方法(氏名の削除など)	<b>75.2%</b>	<b>79.6%</b>	76.5%	*	<b>69.9%</b>	<b>80.5%</b>	***	72.9%	73.9%	71.6%	78.1%	<b>79.7%</b>	ns
提供する情報の種類	72.6%	75.7%	73.5%	ns	<b>66.2%</b>	<b>79.0%</b>	***	69.7%	71.3%	70.3%	74.5%	<b>77.1%</b>	ns
情報提供先の組織・企業がどこか	<b>70.9%</b>	<b>74.4%</b>	72.3%	*	<b>64.6%</b>	<b>76.3%</b>	***	70.0%	67.4%	69.4%	71.0%	74.5%	ns
自分へのメリット還元(ポイントや割引の付与など)	52.5%	<b>65.2%</b>	<b>38.9%</b>	***	<b>49.3%</b>	<b>55.6%</b>	*	54.8%	52.9%	54.2%	49.7%	50.6%	ns
利用目的の公共性	<b>66.2%</b>	<b>68.8%</b>	<b>58.1%</b>	***	<b>61.2%</b>	<b>71.2%</b>	***	<b>61.0%</b>	64.8%	65.2%	67.4%	<b>72.6%</b>	*

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[重視する/重視しない]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001

残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。

各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

国別に見た場合、いずれの国でも「適切な同意取得」と「適切な情報の取扱方法」の重視度が高い。

「適切な同意取得」はどの国も75%以上の方が重視すると答えているが、とくにアメリカ(80.6%)の比率が高く、日本は他国との比較で重視すると答えた人の比率がやや低い(76.6%)。

「適切な情報の取扱方法(氏名の削除など)」も3国とも75%以上の方が重視すると答える

ている。3国の比較では、前項同様、アメリカの比率が高く(79.6%)、日本の比率がやや低い(75.2%)。

「提供する情報の種類」について3国で有意差がない。

「情報提供先の組織・企業がどこか」については、アメリカの比率が高く(74.4%)、日本の比率がやや低い(70.5%)。

「自分へのメリット還元」については、アメリカの比率が高く(65.2%)、ドイツの比率が低い(38.9%)。

「利用目的の公共性」についても、アメリカの比率が高く(68.8%)、ドイツの比率が低い(58.1%)。

概して、**医療・医療健康情報の提供にはアメリカ人において慎重に検討する傾向が見られる。**

日本の回答を性別に見た場合、すべての項目で男性より女性の方が重視すると答えた人の比率が高く、女性の方が医療・健康情報の提供に関して慎重に検討することがうかがわれる。

日本の回答を年齢層別に見た場合、「適切な同意取得」「利用目的の公共性」について有意差があり、いずれも60代において重視すると答えた人の比率が高い。概して、年齢が高くなるにつれ、情報提供に関して慎重に検討する様子うかがわれる。

### 1.3 医療・健康情報提供に同意するに際して重要視する事柄(問14)

表1.3.1は医療・健康情報の提供に同意するに際して、重要視する事柄を尋ねた質問に対する結果である。表中の数値は「1.非常に重視する」「2.ある程度重視する」を合わせた「重視する」比率を示したものである(他の選択肢は「3.どちらでもない」「4.あまり重視しない」「5.まったく重視しない」)。

表 1.3.1 医療・健康情報提供に同意するに際して重視する事柄

	日本				日本			日本					※
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	
情報の利用目的	77.9%	<b>82.1%</b>	<b>74.3%</b>	***	<b>72.4%</b>	<b>83.4%</b>	***	75.2%	75.2%	<b>72.6%</b>	<b>82.3%</b>	<b>84.2%</b>	**
情報の外部送信・第三者提供の有無	74.1%	<b>79.7%</b>	<b>73.2%</b>	***	<b>68.5%</b>	<b>79.7%</b>	***	72.3%	71.9%	<b>68.4%</b>	<b>78.7%</b>	<b>79.4%</b>	**
取得する情報項目	72.8%	<b>78.6%</b>	<b>83.8%</b>	***	<b>67.1%</b>	<b>78.5%</b>	***	72.9%	69.0%	<b>67.1%</b>	76.5%	<b>78.4%</b>	**
情報取得者の情報	72.3%	<b>77.6%</b>	<b>89.3%</b>	***	<b>65.7%</b>	<b>79.0%</b>	***	70.3%	68.7%	<b>66.5%</b>	<b>77.1%</b>	<b>79.0%</b>	***
適切な情報破棄の仕組み	71.7%	<b>75.8%</b>	<b>89.4%</b>	***	<b>64.0%</b>	<b>79.4%</b>	***	69.7%	<b>67.4%</b>	<b>63.5%</b>	<b>78.4%</b>	<b>79.4%</b>	***
第三者提供を行う場合はその提供先	71.7%	<b>76.9%</b>	<b>71.0%</b>	***	<b>65.0%</b>	<b>78.3%</b>	***	68.7%	69.0%	<b>64.2%</b>	<b>77.4%</b>	<b>79.0%</b>	***
一定期間後の情報削除 およびその規定	<b>70.1%</b>	<b>77.4%</b>	<b>70.6%</b>	***	<b>63.2%</b>	<b>76.9%</b>	***	68.4%	66.1%	<b>61.0%</b>	<b>76.8%</b>	<b>78.1%</b>	***
情報取得方法	<b>67.4%</b>	<b>80.5%</b>	<b>65.9%</b>	***	<b>60.6%</b>	<b>74.1%</b>	***	65.8%	<b>61.9%</b>	<b>61.0%</b>	<b>73.2%</b>	<b>74.8%</b>	***
いつでも情報の収集や使用を無効 にできる	<b>69.0%</b>	<b>79.9%</b>	<b>68.6%</b>	***	<b>61.9%</b>	<b>76.0%</b>	***	66.1%	65.8%	<b>61.9%</b>	<b>74.8%</b>	<b>76.1%</b>	***
プライバシーポリシー変更時の手 続きや通知方法	<b>69.7%</b>	<b>77.2%</b>	<b>68.8%</b>	***	<b>63.2%</b>	<b>76.3%</b>	***	67.1%	<b>64.8%</b>	<b>62.9%</b>	<b>77.1%</b>	<b>76.8%</b>	***
問い合わせ窓口	<b>64.6%</b>	<b>76.5%</b>	<b>69.9%</b>	***	<b>57.5%</b>	<b>72.0%</b>	***	<b>58.1%</b>	61.6%	61.9%	<b>71.0%</b>	<b>71.3%</b>	***

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[重視する/重視しない]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001  
 残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。  
 各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

全般的にどの項目も非常に重視度が高い。いずれの国も「情報の利用目的」が最も重要視されて同意条件になっている。3国を比較すれば、とくにアメリカは、いずれの項目においても最も重視度が高くなっている。

日本の回答を性別に見た場合、すべての項目で男性より女性の方が重視すると答えた人の比率が高く、女性の方が医療・健康情報提供への同意に際し慎重に検討することがうかがわれる。

日本の回答を年齢層別に見た場合、すべての項目で50代、60代において重視すると答えた人の比率が高い。概して、年齢が高くなるにつれ、情報提供への同意に際し慎重に検討する様子が見られるが、40代はほとんど項目で重視度が低くなっている。

#### 1.4 医療・健康情報について抵抗感をもつ事柄(問20)

表1.4.1は医療・健康情報の提供にあたって抵抗感をもつ事柄を尋ねた質問に対する結果である。表中の数値は「1.大いに抵抗がある」「2.やや抵抗がある」を合わせた「抵抗感がある」比率を示したものである(他の選択肢は「3.どちらともいえない」「4.あまり抵抗がない」「5.まったく抵抗がない」)。

表 1.4.1 医療・健康情報について、抵抗感をもつ事柄

	日本				日本			日本					※
	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代		
担当の医師以外に閲覧される	27.9%	60.5%	50.0%	***	23.2%	32.5%	***	27.4%	28.7%	30.3%	25.8%	27.1%	ns
収集・蓄積される	30.5%	57.2%	41.3%	***	24.0%	36.9%	***	30.3%	29.0%	35.2%	28.4%	29.4%	ns
公開される	69.5%	71.4%	68.8%	ns	62.3%	76.8%	***	61.9%	65.2%	72.6%	74.2%	73.9%	**
分析される	37.5%	49.4%	30.5%	***	31.2%	43.9%	***	36.8%	35.2%	39.7%	37.4%	38.7%	ns
売買される	79.5%	78.3%	70.8%	***	73.7%	85.3%	***	69.7%	76.1%	81.0%	83.2%	87.4%	***

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[抵抗感あり/抵抗感なし]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001  
 残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。  
 各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

国別に見た場合、抵抗感の強い順番において、日米独とも「売買される」「公開される」が高い。

3国で比較すれば、「公開される」を除くすべての項目で米国の抵抗感が最も高くなっており、医療・健康情報に関する個人情報を処理することに抵抗感がかなり高い様子が見られる。日本では「担当医師以外に閲覧される」「収集・蓄積される」についての抵抗感是比较的少ない。一方で「売買される」に対する抵抗感は3国中最も高い。

日本の回答を性別に見た場合、すべての項目で男性より女性の方の抵抗感が高い。



日本の回答を年齢層別に見た場合、「公開される」と「売買される」について有意差があり、前者は50代、後者は60代の数値が最も高い。概して40代以上の年齢層において抵抗感が高いという傾向が見られる。

### 1.5 医療分野にかかわるサービス・アプリを利用する場合に考えられる懸念や利用しない理由(問21)

表1.5.1は医療分野に関わるサービスやアプリケーションを、インターネットを通じて利用する場合に考えられる懸念や利用しない理由の有無を尋ねた質問に対する結果である。表中の数値は「ある」と答えた人の比率を示したものである。

表 1.5.1 5 医療分野にかかわるサービス・アプリを利用する場合に考えられる懸念や利用しない理由

	日本				日本				日本				
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	※
インターネットや端末を使いこなす自信がない	16.7%	13.2%	9.4%	***	9.5%	23.9%	***	12.3%	16.1%	14.5%	17.4%	23.2%	**
ネット回線や必要な端末を用意することができない	7.6%	8.9%	7.0%	ns	5.2%	10.1%	***	9.0%	6.1%	6.5%	6.8%	9.7%	ns
利用時の通信費用が負担	16.9%	20.9%	11.2%	***	14.1%	19.7%	**	16.8%	19.4%	15.8%	16.1%	16.5%	ns
端末の設定や操作することが面倒	16.3%	15.0%	10.6%	***	11.6%	20.9%	***	15.5%	11.9%	15.8%	19.0%	19.0%	ns
専門家に直接会って診察や指導を受けたい	29.7%	45.9%	41.7%	***	24.8%	34.7%	***	28.7%	24.2%	26.8%	31.3%	37.7%	**
自分の情報をアップロードすることにセキュリティの面で不安がある	38.5%	33.0%	29.9%	***	31.9%	45.0%	***	35.8%	35.2%	39.0%	39.0%	43.2%	ns
自分の情報をアップロードすることにはプライバシー保護の観点から不安・抵抗がある	36.1%	30.3%	31.5%	**	29.2%	43.0%	***	31.6%	33.2%	36.8%	36.8%	41.9%	ns
その他	0.5%	2.2%	1.7%	***	0.6%	0.3%	ns	0.3%	0.6%	0.3%	0.3%	0.6%	ns
懸念や利用しない理由はない	27.7%	21.0%	26.1%	***	36.6%	18.7%	***	32.9%	30.6%	26.5%	28.1%	20.3%	**

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[懸念あり/懸念なし]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001

残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。

各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層 N=310。

国別に見た場合、懸念がある、と答えた人の比率において、日本は「自分の情報をアップロードすることにセキュリティの面で不安がある」「アップロードすることにはプライバシー保護の観点から不安・抵抗がある」の回答比率が高く、米国は「専門家に直接会って診察や指導を受けたい」「自分の情報をアップロードすることにセキュリティの面で不安がある」、ドイツは「専門家に直接会って診察や指導を受けたい」「アップロードすることにはプライバシー保護の観点から不安・抵抗がある」の回答比率が高かった。

3国を比較すると日本が「インターネットや端末を使いこなす自信がない」「端末の設定や操作することが面倒」「自分の情報をアップロードすることにセキュリティの面で不安がある」「アップロードすることにはプライバシー保護の観点から不安・抵抗がある」の4項目で懸念ありと答えた人の比率が最も高かったのに対し、米国とドイツは「専門家に直

接会って診察や指導を受けたい」と答えた人の比率が高かった。

日本の回答を性別に見た場合、すべての項目で男性より女性の方において懸念する人の比率が高かった。

日本の回答を年齢層別に見た場合、「インターネットや端末を使いこなす自信がない」「専門家に直接会って診察や指導を受けたい」の2項目で有意差があり、いずれも60代の回答比率が最も高かった。

### 1.6 医療・健康情報の不安軽減策の効果(問23)

表1.6.1は医療・健康情報について、様々な不安軽減策についてどのくらい効果があるかを尋ねた質問に対する結果である。表中の数値は「1. 不安がなくなる」「2. ほぼ不安がなくなる」「3. やや不安が減る」と答えた人の比率を合計した数値、すなわち「不安がなくなる」と答えた人の比率を示したものである（他の選択肢は「4. 変わらない」）。

表 1.6.1 医療・健康情報の不安軽減策の効果

					日本			日本					※
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	
誰の情報か分からないように医療・健康情報を加工処理することを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける	80.6%	80.8%	63.8%	***	80.6%	80.6%	ns	84.5%	79.7%	73.2%	82.6%	83.2%	**
企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していたことが明らかになった場合に、政府がその企業などに罰金や罰則を科す	78.2%	76.4%	62.9%	***	78.1%	78.3%	ns	82.9%	78.1%	71.0%	81.3%	77.7%	**
企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していると思われる場合に、自身の情報の利用停止、削除などを企業または裁判所に請求できる	77.8%	79.4%	62.2%	***	76.9%	78.7%	ns	83.2%	77.1%	70.0%	77.4%	81.3%	**
情報が外部に漏れないよう安全管理体制をしっかりと整えることを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける	77.6%	80.9%	65.2%	***	76.8%	78.5%	ns	81.3%	76.8%	70.3%	77.1%	82.6%	**
不適切に医療・健康情報が二次利用されていると思われる場合に、政府などの公的な機関が苦情・相談の受付や調査、指導などを行う	76.0%	78.1%	62.0%	***	77.4%	74.6%	ns	79.7%	74.5%	70.6%	75.8%	79.4%	ns

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[不安低減効果あり/効果なし]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001

残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。

各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

国別に見た場合、どの国も質問票に提示された不安低減策で一定の効果をもっている。日本では「誰の情報か分からないように医療・健康情報を加工処理することを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける」が、米国では「情報が外部に漏れないよう安全管理体制をしっかりと整えることを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける」、ドイツではアメリカ同様「情報が外部に漏れないよう安全管理体制をしっかりと

整えることを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける」の項目が最も不安定原効果が見られる。

**3 国を比較すれば、すべての項目において、ドイツが最も不安低減効果が少ない。**

日本の回答を性別に見た場合、いずれの項目でも男女の有意差は見られない。

日本の回答を年齢層別に見た場合、「企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していたことが明らかになった場合に、政府がその企業などに罰金や罰則を科す」「企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していると思われる場合に、自身の情報の利用停止、削除などを企業または裁判所に請求できる」の2項目で20代の不安低減効果が大きく、「情報が外部に漏れないよう安全管理体制をしっかりと整えることを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける」の項目では60代の効果が大きい。一方で、全項目において、40代の不安低減効果が最も小さい。40代は情報提供に比較的根強い不安を抱えている傾向が見られる。

## 2. 個人情報の提供

本章では、様々なテーマに関する個人情報の提供について、その提供意向、メリットやリスクに対する認知、同意の条件、第三者提供について比較を行う。

### 2.1 テーマ別個人情報の提供意向（問7）

まず、テーマ別個人情報の提供意向について、それぞれ「提供してもよい」「条件によっては提供してもよい」「どんな場合でも提供したくない」の3件法で質問した（問7）。「提供してもよい」「条件によっては提供してもよい」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表2.1.1である。 $\chi^2$ 検定の結果、いずれも0.1%未満の水準で有意な偏りが見られ、残差分析の結果、(1)防災・緊急時や(2)健康・福祉、(4)公共サービスでは、日本が他の2か国よりも高く、アメリカが低い傾向が見られ、(3)社会課題解決では日本とドイツがアメリカよりも高い傾向が見られ、(5)教育・研究ではドイツが他の2か国よりも高く、アメリカが低い傾向が見られた（残差分析はいずれも5%未満の水準）。このように、個人情報の公共的利用について、日本は比較的寛容であるといえよう。

表 2.1.1 国別 テーマ別個人情報の提供意向（各国のN=1,550）

	日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1) 防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時	<b>89.5%</b>	<b>80.2%</b>	84.2%	51.74	<.0001
(2) 国民の健康・福祉に関わるもの（医療・新薬開発等）	<b>82.0%</b>	<b>74.8%</b>	77.0%	24.63	<.0001
(3) 交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わるもの	<b>73.0%</b>	<b>64.6%</b>	<b>73.9%</b>	38.89	<.0001
(4) 公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わるもの	<b>76.0%</b>	<b>67.1%</b>	72.8%	31.31	<.0001
(5) 教育や研究など学問の発展に役立てるもの	74.1%	<b>68.5%</b>	<b>78.4%</b>	39.69	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別にテーマ別個人情報提供意向を確認した（表2.1.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、(1)防災・緊急時においてのみ5%の水準で有意な偏りが見られ、男性よりも女性で提供意向が高く、40代の提供意向が低い傾向が見られたが、それ以外に有意な偏りが見られなかった。

表 2.1.2 性別・年齢層別 テーマ別個人情報の提供意向（日本）

	N	男性 775	女性 775	$\chi^2$ 値	p値	20代 310	30代 310	40代 310	50代 310	60代 310	$\chi^2$ 値	p値
(1) 防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時		87.7%	91.2%	5.00	0.0254	90.0%	88.4%	85.2%	92.3%	91.6%	10.67	0.0306
(2) 国民の健康・福祉に関わるもの（医療・新薬開発等）		80.5%	83.5%	2.31	0.1284	83.5%	82.3%	79.0%	82.9%	82.3%	2.55	0.6352
(3) 交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わるもの		73.2%	72.8%	0.03	0.8638	71.6%	72.9%	70.6%	72.3%	77.4%	4.33	0.3631
(4) 公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わるもの		76.1%	75.9%	0.01	0.9053	75.2%	73.9%	75.5%	76.8%	78.7%	2.28	0.6835
(5) 教育や研究など学問の発展に役立てるもの		74.2%	74.1%	0.00	0.9537	76.1%	72.9%	72.9%	75.5%	73.2%	1.56	0.8158

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

## 2.2 テーマ別大規模情報活用のメリット有無認知（問9）

次に、テーマ別に大規模情報の活用のメリットの有無について、それぞれ「大きなメリットがあると思う」「ややメリットがあると思う」「どちらともいえない」「あまりメリットがあるとは思わない」「まったくメリットがあるとは思わない」の5件法で質問した（問9）。「大きなメリットがあると思う」「ややメリットがあると思う」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表2.2.1である。 $\chi^2$ 検定の結果、いずれも0.1%水準で有意な偏りが見られ、残差分析の結果、(1)病気の治療ではアメリカが他の2か国よりもメリット認知が高く、ドイツが低い傾向が見られ、(2)災害・事故の軽減では日本が他の2か国よりもメリット認知が高く、ドイツが低い傾向が見られ、(3)製品・サービスの品質向上(4)ソフトやアプリの品質向上(5)ソフトやアプリの開発では、日本が他の2か国よりも低い傾向が見られ、(6)より良い政策の実行ではアメリカが他の2か国よりも高い傾向が見られた。日本では災害や事故ではメリットを感じる人が多い一方で、ビジネスに関連したものは低いと感じる人が多い。

表 2.2.1 国別 テーマ別大規模情報活用のメリット認知（各国のN=1,550）

	日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1) 病気の治療	59.4%	63.9%	56.3%	18.95	<.0001
(2) 災害・事故の軽減	57.4%	52.5%	50.6%	15.25	0.0005
(3) 製品・サービスの品質向上	41.9%	53.9%	52.1%	52.14	<.0001
(4) ソフトやアプリの品質向上	33.3%	46.6%	46.3%	73.50	<.0001
(5) ソフトやアプリの開発	32.3%	45.7%	43.6%	67.58	<.0001
(6) よりよい政策の実行	32.3%	48.5%	37.0%	90.38	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別にテーマ別大規模情報活用のメリッ

ト認知を確認した(表 2.2.2)。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では5%水準で有意な偏りは見られなかったが、年齢層別では、(1)病気の治療(0.1%水準)、(2)災害・事故の軽減(1%水準)、(3)製品・サービスの品質向上(1%水準)で有意な偏りが見られ、残差分析の結果、(1)病気の治療では20代と60代が高く40代が低い、また(2)災害・事故の軽減では60代が高く40代が低い、また(3)製品・サービスの品質向上では20代が高く40代が低いという傾向が見られた(残差分析の結果はいずれも5%未満の水準)。これらのテーマにおいて、40代が低く、20代や60代といった両極が高い傾向が見られた。

表 2.2.2 性別・年齢層別 テーマ別大規模情報活用のメリット認知(日本)

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1) 病気の治療		58.6%	60.1%	0.39	0.5349	<b>64.5%</b>	58.7%	<b>49.4%</b>	58.7%	<b>65.5%</b>	21.21	0.0003
(2) 災害・事故の軽減		55.0%	59.7%	3.61	0.0574	59.7%	56.5%	<b>48.7%</b>	57.7%	<b>64.2%</b>	16.21	0.0028
(3) 製品・サービスの品質向上		41.5%	42.2%	0.07	0.7969	<b>50.3%</b>	40.6%	<b>35.8%</b>	39.7%	42.9%	14.72	0.0053
(4) ソフトやアプリの品質向上		34.6%	32.0%	1.16	0.2810	<b>39.7%</b>	33.9%	30.0%	30.3%	32.6%	8.55	0.0733
(5) ソフトやアプリの開発		32.9%	31.6%	0.30	0.5869	36.8%	32.3%	30.3%	29.7%	32.3%	4.37	0.3583
(6) よりよい政策の実行		32.6%	32.0%	0.07	0.7860	36.8%	30.6%	29.4%	29.7%	35.2%	6.59	0.1593

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

### 2.3 テーマ別情報活用のリスクと期待のバランス(問12)

次に、テーマ別に情報活用のリスクと期待のバランスについて、それぞれ「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい、「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい、同じくらいである、「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい、「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい、の5件法で質問した(問12)。「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい、「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい、つまり、「期待>不安」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表 2.3.1 である。 $\chi^2$ 検定の結果、(1)防災・緊急時のみが1%水準、それ以外は0.1%水準で有意な偏りが見られ、残差分析の結果、(1)防災・緊急時、(2)健康・福祉、(3)社会課題解決、(4)公共サービスで、日本が他の2か国よりも「期待>不安」の比率が低く、アメリカが高い傾向が見られ、(5)教育・研究では同様に日本が他の2か国よりも低い傾向が見られた。

2.1.1 で見た公共目的での情報提供意向では、(5)教育・研究を除き日本が高い提供意向を示していたが、「期待>不安」の比率が低いことから、日本は他の2か国に比べて、漠然とした不安があるにもかかわらず、公共目的での情報提供意向が高いといえる。

表 2.3.1 国別 テーマ別情報活用の「期待>不安」の比率(各国のN=1,550)

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時の情報活用	<b>41.1%</b>	<b>47.5%</b>	43.0%	13.87	0.0010
(2)	国民の健康・福祉に関わる（医療・新薬開発等）情報活用	<b>33.2%</b>	<b>43.8%</b>	38.3%	36.70	<.0001
(3)	交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わる情報活用	<b>24.9%</b>	<b>32.0%</b>	28.9%	19.22	<.0001
(4)	公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わる情報活用	<b>24.3%</b>	<b>35.5%</b>	27.8%	49.39	<.0001
(5)	教育や研究など学問の発展に役立てるための情報活用	<b>24.3%</b>	<b>36.7%</b>	<b>34.0%</b>	61.44	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別にテーマ別情報活用のリスクと期待のバランスを確認した（表 2.3.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では(4)公共サービス（5%水準）、(5)教育・研究（1%水準）で男性が女性よりも「期待>不安」の比率が高い傾向が見られたが、年齢層別では5%水準で有意な偏りは見られなかった。

表 2.3.2 性別・年齢層別 テーマ別情報活用の「期待>不安」の比率（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1)	防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時の情報活用	40.8%	41.4%	0.07	0.7963	43.5%	41.9%	38.1%	38.4%	43.5%	3.75	0.4413
(2)	国民の健康・福祉に関わる（医療・新薬開発等）情報活用	33.2%	33.3%	0.00	0.9570	35.5%	31.9%	<b>28.1%</b>	34.2%	36.5%	6.25	0.1811
(3)	交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わる情報活用	26.7%	23.1%	2.70	0.1001	27.7%	23.2%	23.2%	22.3%	28.1%	5.09	0.2787
(4)	公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わる情報活用	<b>27.0%</b>	<b>21.5%</b>	6.19	0.0128	25.2%	23.5%	20.0%	22.9%	<b>29.7%</b>	8.55	0.0735
(5)	教育や研究など学問の発展に役立てるための情報活用	<b>27.1%</b>	<b>21.4%</b>	6.80	0.0091	26.5%	24.5%	21.0%	21.9%	27.4%	5.25	0.2630

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

## 2.4 個人情報活用と同意・取扱認否（問8）

次に、情報の種類別に個人情報活用と同意・取扱認否について、それぞれ「どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める」「社会的意義のある目的なら同意不要」「どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める」「どんな目的でも取り扱いを認めない」「わからない、自分には心あたりや関係がない」の5件法で質問した（問8）。「どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める」「社会的意義のある目的なら同意不要」「どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比



較したものが表 2.4.1 である。 $\chi^2$ 検定の結果、いずれも 0.1%水準で有意な偏りが見られ、残差分析の結果、(1)健康情報、(2)医療情報、(3)経歴情報については、いずれも日本が他の2か国よりも提供意向高く、アメリカが低い傾向が見られ、(4)生体情報ではアメリカのみが低い傾向が見られた。

表 2.4.1 国別 情報別個人情報活用と同意・取扱認否（各国の  $N=1,550$ ）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	$p$ 値
(1)	健康診断の結果、運動や喫煙の習慣、食生活など、健康に関する情報	<b>84.3%</b>	<b>66.8%</b>	75.2%	128.01	<.0001
(2)	病歴、服薬履歴、妊娠状況など、医療に関する情報	<b>80.5%</b>	<b>65.6%</b>	74.8%	89.47	<.0001
(3)	学歴、職歴など、経歴に関する情報	<b>74.9%</b>	<b>64.1%</b>	69.9%	43.16	<.0001
(4)	顔画像、指紋、虹彩、声紋、静脈など、生体的な特徴に関する情報	<b>68.8%</b>	<b>53.4%</b>	<b>68.2%</b>	101.73	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別に情報別個人情報活用と同意・取扱認否を確認した（表 2.4.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では 5%水準で有意な偏りが見られず、年齢層別では(1)健康情報（0.1%水準）(2)医療情報（5%水準）、(3)経歴情報（5%水準）で有意な偏りが見られ、40代が低い傾向が見られた。

表 2.4.2 性別・年齢層別 情報別個人情報活用と同意・取扱認否（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	$p$ 値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	$p$ 値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1)	健康診断の結果、運動や喫煙の習慣、食生活など、健康に関する情報	84.1%	84.5%	0.04	0.8340	<b>88.4%</b>	82.6%	<b>77.1%</b>	<b>88.1%</b>	85.5%	20.43	0.0004
(2)	病歴、服薬履歴、妊娠状況など、医療に関する情報	80.8%	80.1%	0.10	0.7488	84.2%	78.4%	<b>75.5%</b>	82.9%	81.3%	9.79	0.0442
(3)	学歴、職歴など、経歴に関する情報	75.9%	73.9%	0.77	0.3795	<b>81.3%</b>	73.5%	71.0%	76.8%	71.9%	11.61	0.0205
(4)	顔画像、指紋、虹彩、声紋、静脈など、生体的な特徴に関する情報	69.4%	68.3%	0.24	0.6216	70.6%	68.1%	66.8%	72.6%	66.1%	4.26	0.3721

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

## 2.5 第三者提供への同意（問10）および同意の条件（問11）

次に、個人情報等の第三者提供への同意、およびその条件について質問している。

### 2.5.1 第三者提供への同意

まず、個人情報等の第三者提供の同意について、「どのような条件でも同意する」「一定



の条件が満たされなければ同意しない」「どのような条件でも同意しない」の3件法で確認した（問 10）。「どのような条件でも同意する」「一定の条件が満たされなければ同意しない」、つまり、条件付きを含め同意する人の比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表 2.5.1 である。 $\chi^2$  検定の結果、0.1%水準で有意な偏りが見られ、日本とアメリカがドイツに比べて高い傾向が見られた。

表 2.5.1 国別 個人情報の第三者提供への同意比率（各国の  $N=1,550$ ）

	日本	米	独	$\chi^2$ 値	$p$ 値
同意する比率	<b>78.0%</b>	<b>76.5%</b>	<b>63.9%</b>	93.10	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別に個人情報の第三者提供への同意について確認した（表 2.5.2）。 $\chi^2$  検定の結果、性別では5%水準で男性が女性よりも高い傾向が見られ、年齢層別では5%水準で有意な偏りが見られ、20代が高く60代が低い傾向が見られた。

表 2.5.2 性別・年齢層別 個人情報の第三者提供への同意比率（日本）

	男性	女性	$\chi^2$ 値	$p$ 値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	$p$ 値
N	775	775			310	310	310	310	310		
同意する比率	<b>80.5%</b>	<b>75.5%</b>	5.72	0.0168	<b>82.9%</b>	80.6%	75.8%	77.7%	<b>72.9%</b>	11.18	0.0246

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

## 2.5.2 第三者提供への同意の条件

次に、個人情報の第三者提供の同意（問 10）について、「一定の条件が満たされなければ同意しない」と回答した人に対して、どういった条件であれば同意するのか、条件を列挙し、その条件が満たされれば「同意する」か「同意しない」か、確認した（問 11）。ここでは、同意する人の比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表 2.5.3 である。 $\chi^2$  検定の結果、(1)匿名性の保証で1%水準、それ以外では0.1%水準で有意な偏りが見られた。さらに残差分析の結果、(1)匿名性の保証では、ドイツが高く、アメリカが低い傾向が見られ、(2)提供内容・提供先の明示では、日本が高い傾向が見られ、(3)提供内容・提供先の自己決定、(4)オプトアウトで日本、アメリカが高い傾向が見られ、(5)提供による見返りではアメリカが高い傾向が見られた。

表 2.5.3 国別 個人情報の第三者提供への同意の条件（それぞれ SA）

	N	日本 1,160	米 908	独 790	$\chi^2$ 値	p値
(1)	完全に匿名性が保証されている	91.6%	<b>88.5%</b>	<b>92.7%</b>	9.63	0.0081
(2)	提供する情報の内容や提供先が明示されている	<b>83.7%</b>	<b>72.0%</b>	<b>74.2%</b>	46.00	<.0001
(3)	提供する情報の内容や提供先の範囲を提供者がある程度設定できる	<b>75.6%</b>	<b>80.6%</b>	<b>56.3%</b>	136.73	<.0001
(4)	提供者の申し出で、後から提供を中止できる (それによる不利益を被らずに)	<b>78.8%</b>	<b>83.8%</b>	<b>62.7%</b>	112.19	<.0001
(5)	提供の見返りに、何らかの特典が得られる	<b>66.2%</b>	<b>79.7%</b>	<b>59.4%</b>	86.64	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別・年齢層別に個人情報の第三者提供への同意条件について確認した(表 2.5.4)。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では(3)提供内容・提供先の明示で、5%水準で女性が男性よりも高く、年齢層別では(2)提供内容・提供先の明示(5%水準)、(3)提供内容・提供先の自己決定(0.1%水準)、(4)オプトアウト(1%水準)、(5)提供による見返り(0.1%水準)で有意な偏りが見られ、年齢層が低いほどそれぞれの条件で同意する傾向が見られた。

表 2.5.4 性別・年齢層別 個人情報の第三者提供への同意の条件(それぞれ SA)

	N	男性 587	女性 573	$\chi^2$ 値	p値	20代 240	30代 241	40代 227	50代 233	60代 219	$\chi^2$ 値	p値
(1)	完全に匿名性が保証されている	92.7%	90.4%	1.94	0.1640	94.6%	90.9%	92.1%	88.4%	91.8%	6.06	0.1947
(2)	提供する情報の内容や提供先が明示されている	84.2%	83.2%	0.18	0.6746	<b>89.2%</b>	86.3%	82.8%	81.5%	<b>78.1%</b>	12.45	0.0143
(3)	提供する情報の内容や提供先の範囲を提供者がある程度設定できる	<b>73.1%</b>	<b>78.2%</b>	4.09	0.0431	<b>80.8%</b>	78.4%	79.7%	73.0%	<b>65.3%</b>	20.19	0.0005
(4)	提供者の申し出で、後から提供を中止できる (それによる不利益を被らずに)	76.8%	80.8%	2.74	0.0981	83.3%	81.3%	80.2%	78.1%	<b>70.3%</b>	13.62	0.0086
(5)	提供の見返りに、何らかの特典が得られる	68.0%	64.4%	1.66	0.1981	<b>73.3%</b>	71.0%	70.9%	<b>57.9%</b>	<b>57.1%</b>	25.41	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

### 3. 情報公開の許容度、プライバシー侵害に関する不安

本章では、情報公開の許容度およびプライバシー侵害などのネット上のトラブルに関する不安について比較を行う。

#### 3.1 情報公開の許容度（問15）

まず、内容ごとの情報公開の許容度について、それぞれ「どのような場合でも公開したくない」「どちらかといえば公開したくない」「どちらでもよい」「どちらかといえば公開してもよい」「どのような場合でも公開してもよい」の5件法で質問した（問15）。「どちらかといえば公開してもよい」「どのような場合でも公開してもよい」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表3.1.1である。

$\chi^2$ 検定の結果、(6)居住地は1%水準、それ以外はいずれも0.1%未満の水準で有意な偏りが見られた。さらに残差分析の結果、(1)氏名、(3)役職名、(4)メールアドレス、(5)電話番号、(6)居住地では、日本が他の2か国よりも低く、アメリカが高い傾向が見られ、(2)会社名、(7)趣味、(8)病歴・病状、(9)宗教、(10)思想・信条では、アメリカが他の2か国より高い傾向が見られた。

表 3.1.1 国別 テーマ別個人情報の提供意向（各国の  $N=1,550$ ）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	$p$ 値
(1)	氏名	3.9%	19.7%	11.2%	189.25	<.0001
(2)	会社名	4.6%	22.1%	10.4%	225.41	<.0001
(3)	会社・組織での役職名	6.0%	26.1%	10.6%	281.04	<.0001
(4)	メールアドレス	3.5%	16.6%	11.2%	143.18	<.0001
(5)	電話番号	2.8%	11.2%	6.4%	85.36	<.0001
(6)	居住地	8.3%	11.8%	10.8%	11.20	0.0037
(7)	趣味	21.1%	31.7%	16.6%	103.92	<.0001
(8)	病歴・病状	12.3%	18.8%	12.3%	35.40	<.0001
(9)	宗教	14.3%	30.6%	15.8%	156.34	<.0001
(10)	思想・信条	13.6%	26.5%	13.8%	114.95	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別に内容ごとの情報公開の許容度を確認した（表3.1.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、(1)氏名（0.1%水準）、(2)会社名（5%水準）、(4)メールアドレス（1%水準）、(5)電話番号（1%水準）、(6)居住地（1%水準）、(8)病歴・病状（1%水準）で男性が女性よりも高い傾向が見られた。年齢層別では(7)趣味で1%水準で有意な偏りがあり年齢層が低いほど提供意向が高く、(8)病歴・病状では5%水準で有意な

偏りがあり 20代が高い傾向が見られ、(9)宗教では 0.1%水準で有意な偏りがあり 20代が高く 40代が低い傾向が見られ、(10)思想・信条では 0.1%水準で有意な偏りがあり 20代が高く 60代が低い傾向が見られた。

表 3.1.2 性別・年齢層別 テーマ別個人情報の提供意向（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1) 氏名		5.9%	1.8%	17.75	<.0001	3.5%	3.5%	3.9%	3.2%	5.2%	1.91	0.7528
(2) 会社名		5.9%	3.4%	5.83	0.0158	4.2%	4.5%	4.8%	5.2%	4.5%	0.38	0.9842
(3) 会社・組織での役職名		7.1%	4.9%	3.31	0.0690	7.4%	6.5%	5.8%	6.8%	3.5%	4.87	0.3006
(4) メールアドレス		5.0%	2.1%	9.97	0.0016	4.5%	3.5%	3.9%	2.9%	2.9%	1.70	0.7913
(5) 電話番号		4.0%	1.7%	7.58	0.0059	2.9%	2.6%	2.9%	2.9%	2.9%	0.09	0.9989
(6) 居住地		10.5%	6.1%	9.84	0.0017	6.8%	9.0%	8.7%	8.1%	8.7%	1.33	0.8565
(7) 趣味		22.1%	20.1%	0.87	0.3504	34.5%	23.2%	14.8%	16.8%	16.1%	49.75	<.0001
(8) 病歴・病状		14.8%	9.8%	9.08	0.0026	17.4%	13.5%	10.0%	11.3%	9.4%	12.27	0.0155
(9) 宗教		14.8%	13.8%	0.34	0.5619	21.3%	16.1%	9.4%	13.5%	11.3%	21.80	0.0002
(10) 思想・信条		14.5%	12.8%	0.93	0.3356	21.0%	14.8%	10.3%	13.2%	8.7%	23.89	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

### 3.2 ネット上のトラブルに関する不安（問16）

次に、ネット上のトラブルに関する不安について、それぞれ「とても不安」「やや不安」「どちらともいえない」「あまり不安ではない」「まったく不安ではない」の5件法で質問した（問16）。「とても不安」「やや不安」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表3.2.1である。

$\chi^2$ 検定の結果、「(1)金融機関などを装ったメールで、偽のサイトに誘導され、クレジットカード番号などを入力させられる」「(2)利用した覚えのないネットサービス利用料金を請求される」「(3)ネットショッピングで支払いに利用したクレジットカードの情報が悪用される」「(4)ネットショッピングで購入した商品が届かなかつたり、商品の状態が悪かつたり、思っていたものと違つたりする」「(6)悪戯や不要な広告などの迷惑メールが大量に届く」「(7)ウィルスや悪いソフトウェアの被害に遭う」「(10)他人によって、自宅住所や電話番号を勝手にインターネットに載せられる」「(12)住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する」「(14)利用料金がいくらなのかかわからない」では、いずれも日本とアメリカがドイツよりも不安を感じる人の比率が高い傾向が見られた（いずれも 0.1%水準）。また、「(5)メールの宛先を間違えて情報が漏えいする」「(11)自分の ID やパスワードが勝手に使われる」「(13)パスワードを忘れてしまう」では、日本が他の2か国より高くドイツが低い傾向が見られた（いずれも 0.1%水準）。「(8)出会い系サイトを利用して、犯罪の被害に遭う」では、ドイツが他の二か国よりも高く、アメリカが他の2か国よりも低い傾向が見られた（1%水準）。また、「(15)公にしていない健康

状態、知られたくない趣味や嗜好などが推定されてしまう」ではドイツ型の2か国に比べ低い傾向が見られた（残差分析の結果、5%水準で有意）が、 $\chi^2$ 検定では5%水準で有意な偏りは見られなかった。「(9)インターネット上で悪口・暴言・挑発的な言葉を書かれる」「(16)自分の行動パターンが分かってしまう」については、5%水準で有意な偏りが見られなかった。総じて、日本やアメリカではネット上のトラブルに関する不安が高く、ドイツでは低い傾向が見られた。

表 3.2.1 国別 ネット上のトラブルに関する不安（各国のN=1,550）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	金融機関などを装ったメールで、偽のサイトに誘導され、クレジットカード番号などを入力させられる	77.9%	78.7%	68.5%	53.99	<.0001
(2)	利用した覚えのないネットサービス利用料金を請求される	76.6%	79.2%	68.4%	51.92	<.0001
(3)	ネットショッピングで支払いに利用したクレジットカードの情報が悪用される	79.8%	77.7%	66.9%	78.69	<.0001
(4)	ネットショッピングで購入した商品が届かなかったり、商品の状態が悪かったり、思っていたものと違ったりする	72.0%	70.6%	52.5%	161.39	<.0001
(5)	メールの宛先を間違えて情報が漏えいする	69.3%	65.0%	57.4%	48.61	<.0001
(6)	悪戯や不要な広告などの迷惑メールが大量に届く	73.7%	71.2%	58.2%	98.19	<.0001
(7)	ウィルスや悪いソフトウェアの被害に遭う	79.9%	77.8%	68.4%	62.56	<.0001
(8)	出会い系サイトを利用して、犯罪の被害に遭う	55.2%	53.7%	59.7%	12.10	0.0024
(9)	インターネット上で悪口・暴言・挑発的な言葉を書かれる	57.7%	55.3%	57.4%	2.17	0.3382
(10)	他人によって、自宅住所や電話番号を勝手にインターネットに載せられる	73.4%	72.6%	65.7%	26.86	<.0001
(11)	自分のIDやパスワードが勝手に使われる	80.7%	75.6%	66.5%	84.65	<.0001
(12)	住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する	79.2%	77.0%	65.4%	88.09	<.0001
(13)	パスワードを忘れてしまう	63.9%	57.4%	48.1%	79.56	<.0001
(14)	利用料金がいくらなのかわからない	66.3%	69.0%	57.1%	52.34	<.0001
(15)	公にしていない健康状態、知られたくない趣味や嗜好などが推定されてしまう	62.9%	63.5%	59.9%	5.08	0.0789
(16)	自分の行動パターンが分かってしまう	65.6%	64.8%	63.6%	1.38	0.5015

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別・年齢層別にネット上のトラブルに関する不安を確認した（表 3.2.2）。 $\chi^2$  検定の結果、性別ではすべての項目で男性よりも女性が不安に思う人の比率が高い傾向が見られた（いずれも 0.1%水準）。一方、年齢層別で 5%水準で有意な偏りが見られたものは、「(1)金融機関などを装ったメールで、偽のサイトに誘導され、クレジットカード番号などを入力させられる」（1%水準）、「(3)ネットショッピングで支払いに利用したクレジットカードの情報が悪用される」（0.1%水準）、「(5)メールの宛先を間違えて情報が漏えいする」（1%水準）、「(6)悪戯や不要な広告などの迷惑メールが大量に届く」（0.1%水準）、「(7)ウィルスや悪いソフトウェアの被害に遭う」（0.1%水準）、「(11)自分の ID やパスワードが勝手に使われる」（0.1%水準）、「(12)住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する」（0.1%水準）、「(13)パスワードを忘れてしまう」（1%水準）、「(14)利用料金がいくらなのかわからない」（5%水準）であり、いずれも 60 代が他の年齢層よりも高い傾向が見られた。

表 3.2.2 性別・年齢層別 ネット上のトラブルに関する不安（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1) 金融機関などを装ったメールで、偽のサイトに誘導され、クレジットカード番号などを入力させられる		72.4%	83.5%	27.75	<.0001	73.5%	74.2%	77.7%	79.4%	84.8%	14.95	0.0048
(2) 利用した覚えのないネットサービス利用料金を請求される		69.5%	83.6%	42.74	<.0001	72.3%	75.8%	74.8%	78.7%	81.3%	8.48	0.0756
(3) ネットショッピングで支払いに利用したクレジットカードの情報が悪用される		72.3%	87.4%	54.80	<.0001	72.9%	77.1%	77.4%	81.6%	90.0%	32.29	<.0001
(4) ネットショッピングで購入した商品が届かなかったり、商品の状態が悪かったり、思っていたものと違ったりする		64.6%	79.4%	41.59	<.0001	71.6%	68.1%	71.6%	70.3%	78.4%	9.13	0.0579
(5) メール宛先を間違えて情報が漏えいする		63.2%	75.4%	26.79	<.0001	61.9%	68.4%	68.7%	70.6%	76.8%	16.48	0.0024
(6) 悪戯や不要な広告などの迷惑メールが大量に届く		65.2%	82.2%	57.96	<.0001	66.8%	69.4%	74.5%	77.4%	80.3%	20.01	0.0005
(7) ウィルスや悪いソフトウェアの被害に遭う		71.9%	87.9%	61.70	<.0001	74.5%	74.8%	80.0%	82.6%	87.4%	22.82	0.0001
(8) 出会い系サイトを利用して、犯罪の被害に遭う		50.2%	60.1%	15.47	<.0001	54.5%	55.2%	55.2%	53.5%	57.4%	1.02	0.9072
(9) インターネット上で悪口・暴言・挑発的な言葉を書かれる		50.5%	64.9%	33.15	<.0001	54.8%	55.8%	60.3%	55.5%	61.9%	5.27	0.2607
(10) 他人によって、自宅住所や電話番号を勝手にインターネットに載せられる		65.3%	81.4%	51.58	<.0001	69.0%	72.9%	73.2%	74.2%	77.4%	5.73	0.2202
(11) 自分のIDやパスワードが勝手に使われる		73.5%	87.9%	51.06	<.0001	75.5%	79.0%	76.5%	84.2%	88.4%	23.76	<.0001
(12) 住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する		71.7%	86.7%	52.75	<.0001	73.9%	76.8%	74.8%	82.6%	88.1%	26.99	<.0001
(13) パスワードを忘れてしまう		56.9%	70.8%	32.61	<.0001	56.1%	62.3%	62.9%	67.7%	70.3%	16.13	0.0028
(14) 利用料金がいくらなのかわからない		59.1%	73.5%	36.23	<.0001	61.3%	63.9%	63.9%	69.4%	73.2%	13.07	0.0109
(15) 公にしていない健康状態、知られたくない趣味や嗜好などが推定されてしまう		54.8%	71.0%	43.20	<.0001	58.7%	61.3%	63.2%	63.5%	67.7%	5.86	0.2097
(16) 自分の行動パターンが分かっってしまう		55.5%	75.7%	70.48	<.0001	61.6%	64.8%	67.4%	64.8%	69.4%	4.74	0.3156

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

### 3.3 プライバシー侵害に関する不安（問22）

次に、プライバシー侵害に関する不安について、それぞれ「非常に不安である」「ある程度不安である」「どちらでもない」「あまり不安でない」「まったく不安でない」の5件法で質問した（問22）。「非常に不安である」「ある程度不安である」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表3.3.1である。

$\chi^2$ 検定の結果、(1)規約と異なる目的の利活用、(4)保護対策への消極性、(6)匿名性の不十分、(8)社会的意義がない、でアメリカが高くドイツが低い傾向が見られ、(2)本人の拒否権なし、(7)得られるメリットがない、で日本とアメリカが高くドイツが低い傾向が見られ、(3)説明が不十分で日本が高くドイツが低い傾向が見られ、(5)様々な情報が収集されていることに対する不安ではアメリカが高く日本とドイツが低い傾向が見られた。

表 3.3.1 国別 プライバシー侵害に関する不安（各国のN=1,550）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	規約類に書かれているものと異なる目的で利活用される恐れがある	71.9%	<b>77.9%</b>	<b>70.1%</b>	26.43	<.0001
(2)	利活用されたくない場合に、本人に拒否権がない	<b>72.1%</b>	<b>73.4%</b>	<b>64.7%</b>	32.34	<.0001
(3)	利活用の目的や内容の説明が十分でない	<b>67.7%</b>	66.4%	<b>59.4%</b>	27.44	<.0001
(4)	企業などが、プライバシーの保護対策に積極的でない	64.5%	<b>69.4%</b>	<b>59.0%</b>	36.90	<.0001
(5)	企業などが、自分に関するさまざまな情報を収集している	<b>61.5%</b>	<b>70.0%</b>	<b>62.5%</b>	29.31	<.0001
(6)	匿名化などの加工処理が十分に行われていない	66.0%	<b>72.2%</b>	<b>60.6%</b>	46.33	<.0001
(7)	自分が得られるメリットがない	<b>55.7%</b>	<b>58.6%</b>	<b>43.2%</b>	83.47	<.0001
(8)	利活用の目的や成果などに社会的な意義を感じない	52.5%	<b>59.1%</b>	<b>45.3%</b>	59.24	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別にプライバシー侵害に関する不安を確認した（表3.3.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、性別ではすべての項目で女性が男性よりも不安が高い傾向が見られた（いずれも0.1%水準）。年齢層で5%未満の水準で有意な偏りが見られたものは、(1)規約と異なる目的の利活用（5%水準）、(2)本人の拒否権なし（5%水準）、



(3)説明が不十分（0.1%水準）、(4)保護対策への消極性（1%水準）であり、いずれも60代の不安が高い傾向にあった。

表 3.3.2 性別・年齢層別 プライバシー侵害に関する不安（日本）

	N	男性 775	女性 775	$\chi^2$ 値	p値	20代 310	30代 310	40代 310	50代 310	60代 310	$\chi^2$ 値	p値
(1)	規約類に書かれているものと異なる目的で利活用される恐れがある	65.5%	78.2%	30.65	<.0001	67.1%	70.6%	71.3%	71.6%	78.7%	10.96	0.0270
(2)	利活用されたくない場合に、本人に拒否権がない	66.5%	77.8%	24.85	<.0001	68.7%	68.7%	70.0%	74.5%	78.7%	11.86	0.0184
(3)	利活用の目的や内容の説明が十分でない	59.7%	75.7%	45.40	<.0001	64.5%	63.5%	63.5%	70.3%	76.8%	18.98	0.0008
(4)	企業などが、プライバシーの保護対策に積極的でない	58.7%	70.2%	22.30	<.0001	61.6%	61.6%	58.4%	67.7%	72.9%	18.29	0.0011
(5)	企業などが、自分に関するさまざまな情報を収集している	53.9%	69.0%	37.29	<.0001	61.6%	58.4%	59.7%	61.6%	66.1%	4.51	0.3412
(6)	匿名化などの加工処理が十分に行われていない	57.8%	74.2%	46.37	<.0001	62.6%	64.2%	64.8%	67.1%	71.3%	6.28	0.1789
(7)	自分が得られるメリットがない	49.7%	61.8%	23.11	<.0001	55.8%	56.5%	56.8%	54.8%	54.8%	0.40	0.9823
(8)	利活用の目的や成果などに社会的な意義を感じない	45.9%	59.0%	26.39	<.0001	52.3%	51.3%	54.2%	53.2%	51.3%	0.79	0.9396

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。



## 4. その他

### 4.1 先進医療サービスの利用意向（問3、問4）

まず、先進医療サービスについて、それぞれ回答者自身が「ぜひ使いたい」「どちらかといえば使いたい」「どちらともいえない」「どちらかといえば使いたくない」「まったく使いたくない」の5件法で質問した（問3）。「ぜひ使いたい」「どちらかといえば使いたい」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表4.1.1である。

$\chi^2$ 検定の結果、(1)遠隔診断・相談、(6)遠隔手術サポート、(8)体質改善アドバイスでは、アメリカが高く日本とドイツが低い傾向が見られ、(2)健康管理、(3)専門家のアドバイス、(9)食事メニューでは、アメリカが高く日本が低い傾向が見られ、(4)介護ロボット、(5)対話ロボット、(7)遠隔診察、(11)医療機関連携ではアメリカが高くドイツが低い傾向が見られ、(10)監視センサーでは日本が低い傾向が見られた。総じて、日本やドイツの利用意向は低く、アメリカの利用意向が高い傾向が見られた。

表 4.1.1 国別 先進医療サービス利用意向（本人の利用）（各国のN=1,550）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス	<b>36.3%</b>	<b>48.4%</b>	<b>34.1%</b>	76.68	<.0001
(2)	インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス	<b>33.6%</b>	<b>40.4%</b>	34.3%	18.63	<.0001
(3)	歩数計、血圧計のデータをインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から記録やアドバイスなどを受けられるサービス	<b>33.7%</b>	<b>39.9%</b>	34.3%	15.89	0.0004
(4)	介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス	19.1%	<b>24.1%</b>	<b>13.9%</b>	52.22	<.0001
(5)	医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなど代わりにロボットが対話してくれるサービス	19.6%	<b>25.4%</b>	<b>16.7%</b>	36.74	<.0001
(6)	近くの病院で、インターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス	<b>25.5%</b>	<b>33.9%</b>	<b>27.1%</b>	30.07	<.0001
(7)	テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅で医師の診察が受けられるサービス	39.3%	<b>50.1%</b>	<b>28.3%</b>	154.63	<.0001
(8)	インターネットなどで、自分に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス	<b>36.1%</b>	<b>47.7%</b>	<b>36.5%</b>	56.16	<.0001
(9)	テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス	<b>29.2%</b>	<b>43.6%</b>	35.4%	70.00	<.0001
(10)	家の中にセンサーを設置し、人が倒れた、人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス	<b>37.8%</b>	41.2%	41.8%	5.94	0.0512
(11)	個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス	41.0%	<b>46.5%</b>	<b>31.2%</b>	78.49	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、先進医療サービスについて、それぞれ回答者の家族に対して、「ぜひ家族に使ってほしい」「どちらかといえば家族に使ってほしい」「どちらともいえない」「どちらかといえば家族に使ってほしくない」「まったく家族に使ってほしくない」の5件法で質問した(問5)。「ぜひ家族に使ってほしい」「どちらかといえば家族に使ってほしい」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表4.1.2である。

$\chi^2$ 検定の結果、(1)遠隔診断・相談、(2)健康管理、(5)対話ロボット、(6)遠隔手術サポート、(8)体質改善アドバイス、(10)監視センサーでは、アメリカで高くドイツで低い傾向が見られ、(3)専門家のアドバイス、(4)介護ロボット、(7)遠隔診察、(11)医療機関連携では日本とアメリカが高くドイツで低い傾向が見られ、(9)食事メニューではアメリカが高く日本とドイツが低い傾向が見られた。総じて、本人の利用と同様にアメリカは高くドイツは低い傾向が見られたが、日本では本人の利用意向は低い傾向が見られたが、家族の利用については肯定的な回答が高いものが見られた。

表 4.1.2 国別 先進医療サービス利用意向（家族の利用）（各国のN=1,550）

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス	36.3%	<b>44.8%</b>	<b>28.6%</b>	86.97	<.0001
(2)	インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス	36.1%	<b>41.4%</b>	<b>30.3%</b>	41.47	<.0001
(3)	歩数計、血圧計のデータをインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から記録やアドバイスなどを受けられるサービス	<b>36.8%</b>	<b>38.4%</b>	<b>28.3%</b>	40.65	<.0001
(4)	介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス	<b>21.2%</b>	<b>23.8%</b>	<b>12.5%</b>	69.98	<.0001
(5)	医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなど代わりにロボットが対話してくれるサービス	20.5%	<b>24.6%</b>	<b>15.4%</b>	41.08	<.0001
(6)	近くの病院で、インターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス	28.1%	<b>33.8%</b>	<b>27.2%</b>	19.14	<.0001
(7)	テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅で医師の診察が受けられるサービス	<b>40.0%</b>	<b>46.3%</b>	<b>24.6%</b>	166.40	<.0001
(8)	インターネットなどで、自分に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス	36.8%	<b>43.2%</b>	<b>32.1%</b>	41.59	<.0001
(9)	テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス	<b>32.2%</b>	<b>42.9%</b>	<b>31.8%</b>	53.61	<.0001
(10)	家の中にセンサーを設置し、人が倒れた、人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス	42.7%	<b>44.3%</b>	<b>39.2%</b>	8.69	0.0130
(11)	個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス	<b>39.9%</b>	<b>44.7%</b>	<b>28.6%</b>	89.60	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別・年齢層別に先進医療サービスについて本人の利用意向（表 4.1.3）および家族への利用意向（表 4.1.4）を確認した。

本人の利用意向については、 $\chi^2$ 検定の結果、性別で5%未満の水準で有意な偏りが見られたものは、(3)専門家のアドバイス（0.1%水準）、(5)対話ロボット（5%水準）、(7)遠隔診察（1%水準）、(8)体質改善アドバイス（0.1%水準）、(9)食事メニュー（0.1%水準）、(10)監視センサー（0.1%水準）、(11)医療機関連携であり、いずれも女性が男性よりも高い利用意向を示した。一方で、年齢層別で5%未満の水準で有意な偏りが見られたものは、(4)介護ロボット、(5)対話ロボット、(9)食事メニュー（いずれも5%水準）であり、20代の利用意向が高い傾向が見られた。

表 4.1.3 性別・年齢層別 先進医療サービス利用意向（本人の利用）（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1) インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス		33.9%	38.6%	3.62	0.0572	37.7%	39.0%	36.5%	33.2%	34.8%	2.84	0.5856
(2) インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス		31.4%	35.9%	3.54	0.0598	<b>38.7%</b>	37.1%	32.6%	29.7%	30.0%	9.41	0.0517
(3) 歩数計、血圧計のデータをインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から記録やアドバイスなどを受けられるサービス		<b>29.7%</b>	<b>37.8%</b>	11.45	0.0007	<b>39.4%</b>	32.9%	33.5%	31.0%	31.9%	5.99	0.1998
(4) 介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス		17.5%	20.6%	2.41	0.1209	<b>25.2%</b>	20.3%	18.4%	16.5%	<b>15.2%</b>	12.29	0.0153
(5) 医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなど代わりにロボットが対話してくれるサービス		<b>17.4%</b>	<b>21.8%</b>	4.73	0.0296	<b>25.2%</b>	21.3%	16.8%	19.0%	15.8%	11.11	0.0254
(6) 近くの病院で、インターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス		24.4%	26.7%	1.10	0.2945	29.7%	24.5%	24.8%	27.1%	21.6%	5.95	0.2030
(7) テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅医師の診察が受けられるサービス		<b>35.7%</b>	<b>42.8%</b>	8.18	0.0042	40.6%	39.7%	36.8%	41.3%	38.1%	1.80	0.7732
(8) インターネットなどで、自分に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス		<b>30.5%</b>	<b>41.7%</b>	21.18	<.0001	38.7%	38.4%	35.5%	34.2%	33.5%	3.03	0.5523
(9) テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス		<b>24.5%</b>	<b>33.9%</b>	16.62	<.0001	<b>36.1%</b>	28.7%	26.5%	28.4%	26.5%	9.59	0.0478
(10) 家の中にセンサーを設置し、人が倒れた、人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス		<b>31.5%</b>	<b>44.1%</b>	26.35	<.0001	40.3%	41.0%	34.5%	39.0%	34.2%	5.50	0.2398
(11) 個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス		<b>36.0%</b>	<b>46.1%</b>	16.22	<.0001	37.7%	39.7%	37.7%	<b>46.8%</b>	43.2%	7.85	0.0972

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

家族への利用意向については、 $\chi^2$ 検定の結果、性別で5%未満の水準で有意な偏りが見られたものは、(1)遠隔診断・相談（0.1%水準）、(2)健康管理（0.1%水準）、(3)専門家のアドバイス（0.1%水準）、(4)介護ロボット（5%水準）、(5)対話ロボット（5%水準）、(7)遠隔診察（0.1%水準）、(8)体質改善アドバイス（0.1%水準）、(9)食事メニュー（0.1%水準）、(10)監視センサー（0.1%水準）、(11)医療機関連携（0.1%水準）であり、いずれも女性が男性よりも高い利用意向を示した。一方で、年齢層別で5%未満の水準で有意な偏りが見られたものは、(3)専門家のアドバイス、(4)介護ロボット、(9)食事メニュー、(10)監視センサー（いずれも5%水準）であり、20代の利用意向が高い傾向が見られた。

表 4.1.4 性別・年齢層別 先進医療サービス利用意向（家族の利用）（日本）

	N	男性 775	女性 775	$\chi^2$ 値	p値	20代 310	30代 310	40代 310	50代 310	60代 310	$\chi^2$ 値	p値
(1)	インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス	30.8%	41.8%	20.15	<.0001	37.7%	40.0%	33.9%	34.8%	35.2%	3.36	0.4989
(2)	インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス	31.0%	41.3%	17.89	<.0001	41.0%	39.4%	32.3%	33.5%	34.5%	7.80	0.0992
(3)	歩数計、血圧計のデータをインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から記録やアドバイスなどを受けられるサービス	31.2%	42.3%	20.52	<.0001	44.8%	38.1%	34.2%	33.2%	33.5%	12.85	0.0120
(4)	介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス	18.8%	23.6%	5.28	0.0215	26.5%	23.9%	20.0%	19.4%	16.5%	11.51	0.0214
(5)	医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなど代わりにロボットが対話してくれるサービス	18.1%	23.0%	5.71	0.0168	24.2%	22.9%	18.4%	19.4%	17.7%	6.24	0.1823
(6)	近くの病院で、インターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス	26.3%	29.9%	2.50	0.1137	31.6%	30.6%	26.8%	27.1%	24.5%	5.28	0.2599
(7)	テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅で医師の診察が受けられるサービス	32.9%	47.1%	32.53	<.0001	42.3%	41.3%	36.8%	41.9%	37.7%	3.36	0.4994
(8)	インターネットなどで、自分に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス	30.3%	43.2%	27.75	<.0001	42.6%	39.0%	32.9%	35.2%	34.2%	8.41	0.0777
(9)	テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス	26.7%	37.7%	21.35	<.0001	37.1%	36.1%	28.4%	31.9%	27.4%	10.92	0.0275
(10)	家の中にセンサーを設置し、人が倒れた。人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス	35.0%	50.5%	37.97	<.0001	47.7%	46.1%	39.7%	42.9%	37.1%	9.85	0.0430
(11)	個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス	33.3%	46.5%	28.00	<.0001	39.7%	40.3%	35.2%	43.9%	40.3%	4.99	0.2878

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

## 4.2 健康習慣（問18）

次に、日ごろの習慣として6項目を列挙し、複数選択させた（問 18）。それぞれの習慣が当てはまる比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表 4.2.1 である。

$\chi^2$  検定の結果、(1)体重測定で日本とドイツが高くアメリカが低い傾向が見られ、(2)血圧測定、(6)スポーツではドイツが高く日本とアメリカが低い傾向が見られ、(3)歩く、(5)スポーツジムではアメリカとドイツが高く日本が低い傾向が見られ、(4)筋力トレーニングはアメリカが高くドイツが低い傾向が見られた（いずれも 0.1%水準）。6項目について当てはまるものがないと回答した人の比率でみると、日本が高くドイツが低い傾向が見られた（0.1%水準）。

表 4.2.1 国別 健康習慣（各国の N=1,550）

	日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1) 体重を測定している	46.0%	31.0%	47.0%	102.04	<.0001
(2) 血圧を測定している	15.8%	13.7%	23.2%	53.78	<.0001
(3) できるだけ歩くようにしている	42.7%	57.8%	54.5%	78.01	<.0001
(4) 筋力トレーニングをしている	15.7%	20.6%	14.8%	21.44	<.0001
(5) 定期的にスポーツジムに通っている	6.8%	16.4%	13.9%	71.38	<.0001
(6) スポーツをしている	14.5%	9.5%	39.6%	484.47	<.0001
(7) 上記にあてはまるものはない	28.2%	23.9%	16.6%	59.77	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別・年齢層別に健康習慣を確認した（表 4.2.2）。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では、(1)体重測定（0.1%水準）、(3)歩く（1%水準）で女性が男性よりも高く、(2)血圧測定（5%水準）、(4)筋力トレーニング（1%水準）、(6)スポーツ（0.1%水準）で男性が女性よりも高い傾向が見られ、6項目に当てはまるものがない比率は男性が女性よりも高い傾向が見られた（5%水準）。一方で、年齢層別では(1)体重測定（0.1%水準）では20代が低く60代が高い傾向が見られ、(2)血圧測定（0.1%水準）では20～40代が低く50～60代が高い傾向が見られ、(3)歩く（0.1%水準）では40代が低く60代が高い傾向が見られ、(4)筋力トレーニング（5%水準）では30代が高く40代が低い傾向が見られ、(6)スポーツをしている（5%水準）では50代が低い傾向が見られた。6項目に当てはまるものがない比率では、20～40代で低く60代で高い傾向が見られた（0.1%水準）。

表 4.2.2 性別・年齢層別 健康習慣（日本）

	N	男性	女性	$\chi^2$ 値	p値	20代	30代	40代	50代	60代	$\chi^2$ 値	p値
		775	775			310	310	310	310	310		
(1) 体重を測定している		<b>39.9%</b>	<b>52.1%</b>	23.44	<.0001	<b>35.2%</b>	43.2%	43.5%	46.5%	<b>61.6%</b>	46.82	<.0001
(2) 血圧を測定している		<b>17.7%</b>	<b>13.9%</b>	4.08	0.0435	<b>3.5%</b>	<b>6.5%</b>	<b>7.4%</b>	<b>21.3%</b>	<b>40.3%</b>	218.79	<.0001
(3) できるだけ歩くようにしている		<b>39.0%</b>	<b>46.5%</b>	8.87	0.0029	<b>39.0%</b>	38.4%	<b>35.8%</b>	43.9%	<b>56.5%</b>	34.21	<.0001
(4) 筋力トレーニングをしている		<b>18.7%</b>	<b>12.6%</b>	10.78	0.0010	17.4%	<b>20.3%</b>	<b>11.0%</b>	13.5%	16.1%	12.08	0.0167
(5) 定期的にスポーツジムに通っている		6.8%	6.7%	0.01	0.9195	4.5%	5.8%	5.8%	8.4%	<b>9.4%</b>	7.97	0.0927
(6) スポーツをしている		<b>19.1%</b>	<b>9.8%</b>	27.05	<.0001	16.5%	16.5%	11.0%	<b>10.6%</b>	17.7%	11.40	0.0224
(7) 上記にあてはまるものはない		<b>30.7%</b>	<b>25.7%</b>	4.85	0.0277	<b>35.5%</b>	<b>33.2%</b>	<b>33.9%</b>	24.2%	<b>14.2%</b>	49.41	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

### 4.3 医療・健康情報の関する不満等（問19+問17(7)）

表 4.3.1 は、病院や健康・医療に関して、日常的いなく不満について質問した結果を示したものである。いずれも「1. あてはまる」「2. ややあてはまる」の合計回答比率、すなわち「あてはまる」人の比率を示した（他の選択肢は「3. どちらともいえない」「4. あまりあてはまらない」「5. あてはまらない」）。

なお、表最下段の☆項目は、「不満」ではなく、むしろ「メリット」を質問しているが、これも同様に数値は「あてはまる」人の比率である。

表中※印欄に示されたアスタリスクは $\chi^2$ 検定の結果（いずれも行、すなわち横での比較）を示し、太字は残差分析で有意に高く、赤字は有意に低いことを表す。

表 4.3.1 医療・健康情報の関する不満等

	日本				日本			日本					
	日本	米	独	※	男性	女性	※	20代	30代	40代	50代	60代	※
病院に行っても待たされてイライラする	50.8%	61.4%	66.7%	***	45.8%	55.7%	***	50.6%	47.1%	54.8%	52.3%	49.0%	ns
近くに病院がない	14.8%	22.8%	20.4%	***	13.4%	16.1%	ns	14.5%	17.7%	14.8%	11.9%	14.8%	ns
かかりつけの病院がない	30.6%	30.3%	33.3%	ns	28.6%	32.5%	ns	31.9%	34.5%	37.4%	30.0%	19.0%	***
複数の病院で、病歴を説明するのが面倒だ	43.0%	49.1%	43.3%	ns	35.4%	50.7%	***	39.4%	40.3%	49.7%	47.7%	38.1%	**
家族の健康が気になる	61.4%	56.6%	78.0%	***	50.7%	72.0%	***	56.8%	60.6%	62.6%	66.8%	60.0%	ns
緊急の際に、病歴を説明できない	20.8%	27.2%	28.2%	***	19.7%	21.8%	ns	28.4%	22.9%	20.6%	18.1%	13.9%	***
病院に行っても、どのくらい費用がかかるかわからないのが不安	50.5%	50.2%	30.9%	***	44.1%	56.8%	***	57.4%	53.2%	53.5%	48.4%	39.7%	***
家族に病気のことをうまく伝えられない	18.7%	32.3%	23.2%	***	15.9%	21.5%	**	22.6%	20.6%	20.0%	19.7%	10.6%	**
病院で説明を受けても分からない	20.6%	25.5%	20.2%	***	16.1%	25.2%	***	26.8%	22.3%	24.5%	17.7%	11.9%	***
病院をたらいまわしにされるのが不安	33.8%	38.0%	21.7%	***	25.0%	42.6%	***	38.4%	34.5%	38.4%	31.3%	26.5%	**
ふだんの健康管理ができない	19.9%	21.5%	17.8%	*	19.2%	20.5%	ns	26.1%	23.2%	22.6%	19.0%	8.4%	***
複数の病院で同じ検査を受けさせられる	25.8%	29.2%	21.8%	***	21.4%	30.2%	***	21.9%	25.8%	28.7%	28.4%	24.2%	ns
検査の結果の説明が不十分だ	26.1%	33.7%	31.7%	***	19.4%	32.8%	***	22.3%	28.4%	28.7%	27.1%	23.9%	ns
☆病院や診療所に行くことで、他の患者とのコミュニケーションができる	18.6%	41.8%	55.7%	***	16.9%	20.3%	ns	18.4%	17.7%	18.7%	16.8%	21.3%	ns

※各属性(国、性別、年齢層)×各回答における[あてはまる/あてはまらない]のクロス集計の $\chi^2$ 検定結果

ns:no significant, \*:p<0.05, \*\*:p<0.01, \*\*\*:p<0.001

残差分析の結果5%水準(両側検定)で数値が太字のものは「有意に高い」赤字は「有意に低い」ことを示す。

各国のN=1,550。日本の男性、女性ともにN=775。日本の各年齢層N=310。

まず、方向性が逆の「☆病院や診療所に行くことで、他の患者とのコミュニケーションができる」を除いた項目、すなわち主に不満に関する項目で回答分布を見てみる。

国別に見た場合、日本は「家族の健康が気になる」が最も該当率が高く、米国は「病院に行っても待たされてイライラする」、ドイツは、「家族の健康が気になる」の該当率が高い。

3国を比較すれば、日本は「病院に行っても、どのくらい費用がかかるかわからないのが不安」の項目で最も該当率が高く、アメリカは「近くに病院がない」「複数の病院で、病歴を説明するのが面倒」「家族に病気のことをうまく伝えられない」「病院で説明を受けてもわからない」「病院をたらい回しにされるのが不安」「ふだんの健康管理ができない」「複数の病院で同じ検査を受けさせられる」「検査の結果の説明が不十分だ」という多くの項目で3国の中で最も該当率が高い。ドイツは「病院に行っても待たされてイライラする」「かかりつけの病院がない」「家族の健康が気になる」「緊急の際に、病歴を説明できない」の4項目で最も比率が高い。

日本の回答を性別に見た場合、全項目で男性より女性の方が該当率が高い。とりわけ、女性では「家族の健康が気になる」の該当率が高い。

日本の回答を年齢層別に見た場合、有意差のあった項目について、20代は「緊急の際に、病歴を説明できない」「病院に行っても、どのくらい費用がかかるかわからないのが不安」「家族に病気のことをうまく伝えられない」「病院で説明を受けてもわからない」「ふだんの健康管理ができない」の項目で該当率が高く、「かかりつけの病院がない」「複数の病院



で、病歴を説明するのが面倒」の2項目で40代の該当率が高い。

一方、病院のメリットを質問した「病院や診療所に行くことで、他の患者とのコミュニケーションができる(問 17(7))」については、国別に見てドイツの該当率が最も高く、日本の該当率(18.6%)は最も低い。日本の回答を性別に見た場合、男女の有意差は示されなかったが、男性より女性の方の該当率が高い傾向が見られた。年齢層別に見た場合も有意差は示されなかった。

#### 4.4 クラウドサービスの利用と信頼 (問5、問6)

まず、利用しているクラウドサービスについて、代表的な5つのサービスを列挙し、複数選択させた(問5)。それぞれのサービスを利用している人の比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表4.4.1である。 $\chi^2$ 検定の結果、いずれも日本の利用率が低くアメリカの利用率が高い傾向が見られ、ドイツではDropBoxの利用率は高いが、Googleドライブ、iCloudの利用率は低い傾向が見られた(いずれも0.1%水準)。5つのクラウドサービスを利用していない人の比率を比べた場合、日本が高くアメリカとドイツが低い傾向が見られた(0.1%水準)。

表 4.4.1 国別 クラウドサービスの利用 (各国のN=1,550)

		日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
(1)	DropBox	10.9%	28.3%	26.8%	167.92	<.0001
(2)	Microsoft OneDrive	8.1%	24.5%	17.2%	149.78	<.0001
(3)	Googleドライブ	16.3%	37.8%	23.2%	196.36	<.0001
(4)	iCloud	17.2%	26.2%	14.2%	77.79	<.0001
(5)	Box (ファイル共有サービス)	1.2%	3.9%	1.7%	28.54	<.0001
(6)	上記に利用しているものはない	67.0%	39.4%	49.9%	241.09	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別、年齢層別にクラウドサービスの利用状況を確認した(表4.4.2)。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では、DropBox(0.1%水準)、Microsoft OneDrive(0.1%水準)、Googleドライブ(0.1%水準)、Box(1%水準)で男性が女性よりも利用率が高く、5項目に対して利用しているものはない人の比率では女性が男性よりも高い(0.1%水準)。年齢層別では、DropBox(0.1%水準)、Microsoft OneDrive(1%水準)、Googleドライブ(0.1%水準)、iCloud(0.1%水準)で有意な偏りが見られ、いずれも若年層の利

用率が高い。5項目に対して利用しているものはない人の比率では20代が低く、40代60代が高い傾向が見られた(0.1%水準)。

表 4.4.2 性別・年齢層別 クラウドサービスの利用 (日本)

	N	男性 775	女性 775	$\chi^2$ 値	p値	20代 310	30代 310	40代 310	50代 310	60代 310	$\chi^2$ 値	p値
(1) DropBox		14.5%	7.4%	20.09	<.0001	21.0%	12.6%	8.4%	6.1%	6.5%	48.84	<.0001
(2) Microsoft OneDrive		11.9%	4.4%	29.06	<.0001	13.5%	6.1%	5.5%	9.0%	6.5%	18.26	0.0011
(3) Googleドライブ		19.9%	12.6%	14.86	0.0001	25.8%	17.7%	12.3%	15.2%	10.3%	33.20	<.0001
(4) iCloud		18.5%	16.0%	1.63	0.2012	26.5%	19.0%	14.2%	14.8%	11.6%	29.30	<.0001
(5) Box (ファイル共有サービス)		2.1%	0.4%	9.01	0.0027	1.6%	1.6%	1.0%	1.3%	0.6%	1.81	0.7703
(6) 上記に利用しているものはない		63.0%	71.0%	11.21	0.0008	48.7%	64.2%	73.2%	69.7%	79.0%	74.71	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、クラウドサービスのセキュリティに対する信頼について、「全面的に信頼している」「ある程度信頼している」「どちらともいえない」「あまり信頼していない」「まったく信頼していない」の5件法で質問した(問6)。「全面的に信頼している」「ある程度信頼している」を合算した比率を、日本、アメリカ、ドイツの3か国で比較したものが表 4.4.3 である。 $\chi^2$ 検定の結果、アメリカが高く日本とドイツが低い傾向が見られた(0.1%水準)。

表 4.4.3 国別 クラウドサービスのセキュリティに対する信頼 (各国のN=1,550)

	日本	米	独	$\chi^2$ 値	p値
信頼している	29.9%	48.1%	35.4%	114.66	<.0001

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。

さらに、回答者を日本に限定して、性別・年齢層別にクラウドサービスのセキュリティに対する信頼を確認した(表 4.4.4)。 $\chi^2$ 検定の結果、性別では男性が女性よりも高く(5%水準)、年齢層別では20代が高い傾向が見られた(1%水準)。

表 4.4.4 性別・年齢層別 クラウドサービスのセキュリティに対する信頼 (日本)

	男性 775	女性 775	$\chi^2$ 値	p値	20代 310	30代 310	40代 310	50代 310	60代 310	$\chi^2$ 値	p値
信頼している	32.6%	27.1%	5.69	0.0170	38.4%	30.6%	25.8%	26.1%	28.4%	15.66	0.0035

※残差分析の結果、5%水準で、黒・太字は有意に高く、赤・太字は有意に低いことを示す。



## 単純集計表

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
N		1,550	1,550	1,550	4,650	
	あなたの性別をお知らせください。					
	1 男性	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
	2 女性	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
	あなたの年齢をお知らせください。					
	S3S1N	[ ]歳	44.8	45	44.7	44.8
Q1	あなたは平日（仕事や学校がある日）1日で下記それぞれの時間がどのくらいありますか。 おおよその時間をお答えください。					
	(1) テレビ視聴時間	167.1	304.3	174.6	210.8	
	(2) 新聞を読む時間（紙媒体の新聞）	18.9	49.4	27.0	77.2	
	(3) ラジオ聴取時間	30.9	121.7	118.3	153.2	
	(4) パソコンからのインターネット利用時間	156.0	296.1	221.9	221.3	
	(5) タブレット端末からのインターネット利用時間	15.6	93.4	33.8	122.9	
	(6) スマートフォンからのインターネット利用時間	53.2	113.0	64.0	146.8	
	(7) スマートフォン以外の携帯電話からのインターネット利用時間	3.0	46.1	8.8	93.8	
Q2	あなたの年齢をお知らせください。					
(1)	パソコン・タブレットからのネット情報	1 よくある	24.6%	30.7%	22.6%	26.0%
		2 たまにある	47.0%	35.2%	42.8%	41.7%
		3 あまりない	18.8%	20.3%	19.2%	19.5%
		4 まったくない	9.5%	13.8%	15.3%	12.9%
(2)	スマートフォン・従来型携帯電話からのネット情報	1 よくある	12.6%	16.9%	11.6%	13.7%
		2 たまにある	27.5%	25.5%	25.4%	26.2%
		3 あまりない	18.6%	17.6%	20.5%	18.9%
		4 まったくない	41.2%	39.9%	42.5%	41.2%
(3)	テレビ	1 よくある	27.6%	14.9%	12.5%	18.3%
		2 たまにある	47.9%	28.4%	33.4%	36.6%
		3 あまりない	15.0%	26.9%	29.5%	23.8%
		4 まったくない	9.5%	29.8%	24.6%	21.3%
(4)	ラジオ	1 よくある	3.0%	9.2%	7.2%	6.4%
		2 たまにある	12.8%	19.9%	21.2%	18.0%
		3 あまりない	22.7%	24.0%	25.7%	24.2%
		4 まったくない	61.5%	46.9%	45.9%	51.4%
(5)	新聞	1 よくある	7.2%	10.8%	8.5%	8.8%
		2 たまにある	29.2%	21.7%	28.9%	26.6%
		3 あまりない	22.1%	26.2%	26.5%	24.9%
		4 まったくない	41.6%	41.2%	36.2%	39.7%
(6)	雑誌	1 よくある	3.2%	9.5%	8.3%	7.0%
		2 たまにある	25.0%	26.3%	30.6%	27.3%
		3 あまりない	28.8%	25.0%	28.6%	27.5%
		4 まったくない	43.0%	39.2%	32.5%	38.2%
(7)	家族	1 よくある	8.8%	19.1%	15.4%	14.4%
		2 たまにある	45.3%	38.4%	42.3%	42.0%
		3 あまりない	23.7%	22.8%	23.3%	23.3%
		4 まったくない	22.3%	19.7%	19.1%	20.3%
(8)	友人・知人	1 よくある	6.6%	12.7%	10.9%	10.1%
		2 たまにある	41.0%	37.6%	40.4%	39.7%
		3 あまりない	26.1%	25.7%	28.8%	26.9%
		4 まったくない	26.3%	24.0%	19.9%	23.4%
(9)	病院のパンフレット	1 よくある	3.1%	11.3%	7.2%	7.2%
		2 たまにある	26.2%	22.6%	30.4%	26.4%
		3 あまりない	32.3%	31.9%	32.0%	32.0%
		4 まったくない	38.5%	34.3%	30.5%	34.4%
(10)	それ以外のパンフレット	1 よくある	1.4%	7.4%	5.3%	4.7%
		2 たまにある	11.1%	17.6%	21.2%	16.6%
		3 あまりない	32.8%	31.0%	31.4%	31.7%
		4 まったくない	54.7%	44.1%	42.1%	46.9%
(11)	フリーペーパー・チラシ	1 よくある	1.4%	8.9%	5.6%	5.3%
		2 たまにある	10.4%	15.8%	18.2%	14.8%
		3 あまりない	30.3%	25.2%	27.7%	27.7%
		4 まったくない	57.9%	50.1%	48.5%	52.2%
(12)	保険会社の外交員	1 よくある	0.6%	8.8%	3.6%	4.3%
		2 たまにある	4.6%	21.0%	10.6%	12.0%
		3 あまりない	22.5%	25.7%	18.8%	22.3%
		4 まったくない	72.3%	44.5%	67.0%	61.3%

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q3	以下のサービスやアプリケーションが提供された場合、あなたは利用したいと思いますか。					
	(1)インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス（自宅や外出先等で、テレビ画面やテレビ電話、PCのディスプレイを通じて、医師の診察を受けたり直接相談することができるサービスです。）	1 ぜひ使いたい	8.1%	24.3%	11.4%	14.6%
		2 どちらかといえば使いたい	28.1%	24.1%	22.8%	25.0%
		3 どちらともいえない	42.5%	24.2%	23.0%	29.9%
		4 どちらかといえば使いたくない	10.5%	7.0%	17.6%	11.7%
		5 まったく使いたくない	10.8%	20.4%	25.2%	18.8%
	(2)インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス（専用の計測機器等を利用して自分の日々の健康情報を医療機関に自動的に送り、診察結果を基に、病気の予兆通知、薬の処方の確認等が受けられるサービスです。）	1 ぜひ使いたい	6.6%	13.3%	9.8%	9.9%
		2 どちらかといえば使いたい	27.0%	27.1%	24.5%	26.2%
		3 どちらともいえない	43.1%	26.5%	25.0%	31.5%
		4 どちらかといえば使いたくない	12.5%	11.3%	15.7%	13.1%
		5 まったく使いたくない	10.8%	21.8%	25.0%	19.2%
(3)自分で計測した歩数計、血圧計のデータをメールやインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から自分の健康状態の記録やアドバイスなどを受けられるサービス	1 ぜひ使いたい	7.3%	15.9%	9.7%	11.0%	
	2 どちらかといえば使いたい	26.5%	24.0%	24.6%	25.0%	
	3 どちらともいえない	40.7%	28.1%	26.3%	31.7%	
	4 どちらかといえば使いたくない	14.3%	11.0%	14.5%	13.2%	
	5 まったく使いたくない	11.2%	21.0%	25.0%	19.1%	
(4)介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス	1 ぜひ使いたい	4.1%	9.6%	3.9%	5.9%	
	2 どちらかといえば使いたい	15.0%	14.5%	10.0%	13.2%	
	3 どちらともいえない	45.0%	22.5%	20.1%	29.2%	
	4 どちらかといえば使いたくない	20.7%	15.6%	15.7%	17.3%	
	5 まったく使いたくない	15.2%	37.8%	50.3%	34.4%	
(5)医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなどに代わりにロボットが対話してくれるサービス	1 ぜひ使いたい	3.4%	11.0%	3.9%	6.1%	
	2 どちらかといえば使いたい	16.3%	14.4%	12.8%	14.5%	
	3 どちらともいえない	42.8%	24.2%	20.8%	29.2%	
	4 どちらかといえば使いたくない	21.0%	13.2%	16.2%	16.8%	
	5 まったく使いたくない	16.6%	37.2%	46.3%	33.4%	
(6)家の近くの病院で、テレビ電話やインターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス	1 ぜひ使いたい	5.0%	13.9%	6.3%	8.4%	
	2 どちらかといえば使いたい	20.6%	20.0%	20.8%	20.5%	
	3 どちらともいえない	45.9%	31.5%	27.4%	34.9%	
	4 どちらかといえば使いたくない	15.3%	11.8%	16.7%	14.6%	
	5 まったく使いたくない	13.3%	22.8%	28.8%	21.6%	
(7)テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅で医師の診察が受けられるサービス	1 ぜひ使いたい	8.6%	19.2%	7.5%	11.8%	
	2 どちらかといえば使いたい	30.6%	30.8%	20.8%	27.4%	
	3 どちらともいえない	40.4%	25.0%	24.6%	30.0%	
	4 どちらかといえば使いたくない	9.6%	8.3%	17.2%	11.7%	
	5 まったく使いたくない	10.7%	16.6%	29.9%	19.1%	
(8)インターネットなどで、自分の健康状態に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス	1 ぜひ使いたい	8.5%	17.6%	10.6%	12.2%	
	2 どちらかといえば使いたい	27.5%	30.1%	25.9%	27.8%	
	3 どちらともいえない	42.6%	25.8%	26.3%	31.6%	
	4 どちらかといえば使いたくない	9.9%	8.6%	11.8%	10.1%	
	5 まったく使いたくない	11.4%	17.9%	25.4%	18.2%	
(9)テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス	1 ぜひ使いたい	6.5%	17.0%	9.7%	11.0%	
	2 どちらかといえば使いたい	22.8%	26.6%	25.7%	25.1%	
	3 どちらともいえない	46.3%	25.4%	25.9%	32.5%	
	4 どちらかといえば使いたくない	12.5%	9.9%	12.5%	11.6%	
	5 まったく使いたくない	12.0%	21.0%	26.2%	19.7%	
(10)家の中にセンサーを設置し、人が倒れた、人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス	1 ぜひ使いたい	9.5%	16.5%	11.9%	12.6%	
	2 どちらかといえば使いたい	28.3%	24.7%	29.9%	27.6%	
	3 どちらともいえない	43.2%	28.9%	28.0%	33.4%	
	4 どちらかといえば使いたくない	8.9%	8.9%	10.1%	9.3%	
	5 まったく使いたくない	10.1%	21.0%	20.1%	17.1%	
(11)個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス	1 ぜひ使いたい	9.7%	18.1%	7.7%	11.8%	
	2 どちらかといえば使いたい	31.3%	28.4%	23.5%	27.7%	
	3 どちらともいえない	40.8%	27.4%	30.4%	32.8%	
	4 どちらかといえば使いたくない	8.4%	7.9%	12.6%	9.6%	
	5 まったく使いたくない	9.8%	18.3%	25.9%	18.0%	

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q4	以下のサービスやアプリケーションが提供された場合、あなたのご家族に利用させたいと思いますか。					
	(1)インターネットと情報端末等を通じて遠隔に医療診断や相談ができるサービス（自宅や外出先等で、テレビ画面やテレビ電話、PCのディスプレイを通じて、医師の診察を受けたり直接相談することができるサービスです。）	1 ぜひ家族に使ってほしい	8.8%	22.5%	8.6%	13.3%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	27.5%	22.3%	20.1%	23.3%
		3 どちらともいえない	49.1%	28.7%	30.6%	36.1%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	7.4%	7.0%	14.8%	9.7%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.2%	19.5%	26.0%	17.6%
	(2)インターネットと専用機器等を通じて日々の健康管理ができるサービス（専用の計測機器等を利用して自分の日々の健康情報を医療機関に自動的に送り、診察結果を基に、病気の予兆通知、薬の処方の確認等が受けられるサービスです。）	1 ぜひ家族に使ってほしい	8.6%	14.9%	8.1%	10.5%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	27.5%	26.5%	22.3%	25.4%
		3 どちらともいえない	49.9%	29.9%	31.0%	36.9%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	6.9%	8.5%	13.3%	9.5%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.1%	20.2%	25.4%	17.5%
	(3)自分で計測した歩数計、血圧計のデータをメールやインターネットを利用して専門家に送ると、専門家から自分の健康状態の記録やアドバイスなどを受けられるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	9.4%	16.4%	7.9%	11.2%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	27.4%	22.0%	20.4%	23.2%
		3 どちらともいえない	48.9%	32.3%	35.1%	38.8%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	7.2%	8.9%	12.1%	9.4%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.1%	20.5%	24.6%	17.4%
	(4)介護施設などで職員の代わりにロボットが介護してくれるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	5.3%	9.0%	3.4%	5.9%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	15.9%	14.8%	9.1%	13.3%
		3 どちらともいえない	50.5%	26.3%	27.3%	34.7%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	16.2%	13.9%	13.7%	14.6%
		5 まったく家族に使ってほしくない	12.1%	36.0%	46.5%	31.5%
	(5)医療機関や介護施設などで職員が忙しいときなど代わりにロボットが対話してくれるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	4.5%	11.2%	4.4%	6.7%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	16.1%	13.4%	11.0%	13.5%
		3 どちらともいえない	50.7%	27.5%	26.7%	35.0%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	16.6%	12.3%	14.3%	14.4%
		5 まったく家族に使ってほしくない	12.2%	35.5%	43.6%	30.4%
	(6)家の近くの病院で、テレビ電話やインターネットなどを使って、有名な病院の医師のアドバイスを受けながら手術が受けられるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	6.3%	14.9%	6.8%	9.3%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	21.8%	18.9%	20.4%	20.4%
		3 どちらともいえない	49.9%	32.3%	29.9%	37.4%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	12.2%	10.1%	14.1%	12.2%
		5 まったく家族に使ってほしくない	9.7%	23.7%	28.8%	20.8%
	(7)テレビ電話やインターネットなどを使って、自宅で医師の診察を受けられるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	10.2%	18.2%	7.2%	11.8%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	29.8%	28.1%	17.4%	25.1%
		3 どちらともいえない	45.4%	29.5%	31.5%	35.5%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	7.2%	6.8%	15.2%	9.7%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.4%	17.4%	28.7%	17.8%
	(8)インターネットなどで、自分の健康状態に合わせた運動メニューが提示され、継続的な体質改善のアドバイスを受けられるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	9.1%	17.5%	8.8%	11.8%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	27.7%	25.7%	23.3%	25.6%
		3 どちらともいえない	49.0%	30.2%	31.7%	36.9%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	7.0%	8.2%	11.8%	9.0%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.3%	18.4%	24.5%	16.7%
	(9)テレビ電話やインターネットなどで、自分の健康状態に合わせた食事メニューが提示され、その材料が注文できるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	8.6%	16.1%	9.3%	11.4%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	23.5%	26.8%	22.5%	24.3%
		3 どちらともいえない	51.2%	28.5%	31.5%	37.1%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	9.2%	8.8%	11.4%	9.8%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.4%	19.8%	25.3%	17.5%
	(10)家の中にセンサーを設置し、人が倒れた、人の動きがない等の異常時に警備員が駆けつけて安否を確認するサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	16.6%	20.0%	13.6%	16.7%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	26.1%	24.3%	25.5%	25.3%
		3 どちらともいえない	44.2%	28.9%	30.1%	34.4%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	6.6%	7.2%	9.1%	7.6%
		5 まったく家族に使ってほしくない	6.5%	19.7%	21.7%	15.9%
	(11)個人の医療情報が医療機関で連携され、病状の説明が省けるサービス	1 ぜひ家族に使ってほしい	11.7%	19.1%	7.7%	12.9%
		2 どちらかといえば家族に使ってほしい	28.1%	25.6%	20.9%	24.9%
		3 どちらともいえない	45.5%	30.1%	34.2%	36.6%
		4 どちらかといえば家族に使ってほしくない	7.5%	6.5%	10.9%	8.3%
		5 まったく家族に使ってほしくない	7.0%	18.6%	26.3%	17.3%
Q5	以下の(1)～(5)のウェブサイトやアプリのリストが挙げられています。この中で、あなたが利用しているものはありますか。あてはまるものをすべて選択してください。					
		1 DropBox	10.9%	28.3%	26.8%	22.0%
		2 Microsoft OneDrive	8.1%	24.5%	17.2%	16.6%
		3 Googleドライブ	16.3%	37.8%	23.2%	25.7%
		4 iCloud	17.2%	26.2%	14.2%	19.2%
		5 Box（ファイル共有サービス）	1.2%	3.9%	1.7%	2.3%
		6 上記に利用しているものはない	67.0%	39.4%	49.9%	52.1%
Q6	前問に挙げたようなクラウドサービスの情報セキュリティについてどの程度信頼していますか？					
		1 全的に信頼している	1.7%	15.0%	4.4%	7.0%
		2 ある程度信頼している	28.2%	33.1%	31.0%	30.8%
		3 どちらともいえない	45.2%	28.1%	28.1%	33.8%
		4 あまり信頼していない	19.9%	15.4%	21.5%	18.9%
		5 まったく信頼していない	5.1%	8.5%	15.0%	9.5%

			全体				
			日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q7	あなたは、以下のような場合に、あなたに関する個人情報を提供することに対してどのようにお考えですか。 それぞれもっともあてはまるものを1つ選択してください。						
	(1)	防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時	1 提供してもよい	31.5%	32.2%	36.4%	33.4%
			2 条件によっては提供してもよい	57.9%	48.0%	47.8%	51.2%
			3 どんな場合でも提供したくない	10.5%	19.8%	15.8%	15.4%
	(2)	国民の健康・福祉に関わるもの（医療・新薬開発等）	1 提供してもよい	16.7%	22.9%	24.6%	21.4%
			2 条件によっては提供してもよい	65.3%	51.9%	52.5%	56.5%
			3 どんな場合でも提供したくない	18.0%	25.2%	23.0%	22.1%
	(3)	交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わるもの	1 提供してもよい	12.3%	20.6%	24.3%	19.1%
			2 条件によっては提供してもよい	60.6%	44.1%	49.7%	51.5%
			3 どんな場合でも提供したくない	27.0%	35.4%	26.1%	29.5%
	(4)	公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わるもの	1 提供してもよい	12.4%	20.5%	23.3%	18.7%
			2 条件によっては提供してもよい	63.6%	46.6%	49.5%	53.3%
			3 どんな場合でも提供したくない	24.0%	32.9%	27.2%	28.0%
	(5)	教育や研究など学問の発展に役立つもの	1 提供してもよい	12.1%	24.0%	26.3%	20.8%
			2 条件によっては提供してもよい	62.0%	44.5%	52.1%	52.9%
			3 どんな場合でも提供したくない	25.9%	31.5%	21.6%	26.3%
Q8	次に挙げる情報を活用するにあたっては、どのような取り扱いが望ましいと思いますか。						
	(1)	健康診断の結果、運動や喫煙の習慣、食生活など、健康に関する情報	1 どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める	4.0%	15.4%	5.9%	8.4%
			2 社会的意義のある目的なら同意不要	16.7%	9.0%	13.2%	13.0%
			3 どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める	63.6%	42.5%	56.1%	54.1%
			4 どんな目的でも取り扱いを認めない	8.6%	24.5%	14.7%	15.9%
			5 わからない、自分には心あたりや関係がない	7.0%	8.7%	10.1%	8.6%
	(2)	病歴、服薬履歴、妊娠状況など、医療に関する情報	1 どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める	3.6%	10.3%	5.4%	6.4%
			2 社会的意義のある目的なら同意不要	12.5%	13.0%	13.4%	12.9%
			3 どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める	64.4%	42.4%	56.0%	54.3%
			4 どんな目的でも取り扱いを認めない	12.3%	25.9%	15.0%	17.7%
			5 わからない、自分には心あたりや関係がない	7.3%	8.5%	10.2%	8.7%
	(3)	学歴、職歴など、経歴に関する情報	1 どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める	3.3%	9.5%	4.5%	5.8%
			2 社会的意義のある目的なら同意不要	10.8%	12.3%	11.9%	11.7%
			3 どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める	60.8%	42.2%	53.5%	52.2%
			4 どんな目的でも取り扱いを認めない	17.7%	26.2%	19.4%	21.1%
			5 わからない、自分には心あたりや関係がない	7.4%	9.7%	10.6%	9.2%
	(4)	顔画像、指紋、虹彩、声紋、静脈など、身体的特徴に関する情報	1 どんな目的でも同意無しで取り扱いを認める	2.8%	9.3%	5.4%	5.8%
			2 社会的意義のある目的なら同意不要	10.3%	11.0%	10.8%	10.7%
			3 どんな目的でも同意した場合のみ取り扱いを認める	55.7%	33.2%	52.1%	47.0%
			4 どんな目的でも取り扱いを認めない	23.1%	36.0%	21.2%	26.8%
			5 わからない、自分には心あたりや関係がない	8.1%	10.6%	10.6%	9.8%
Q9	生活者に関するさまざまな大規模情報を活用することでさまざまなメリットを得られることが期待されています。あなたは、以下の事柄について、あなた自身にどれくらいメリットがあると思いますか。						
	(1)	病気の治療	1 大きなメリットがあると思う	16.9%	28.9%	15.1%	20.3%
			2 ややメリットがあると思う	42.5%	35.0%	41.2%	39.6%
			3 どちらともいえない	31.2%	23.5%	26.5%	27.1%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	6.5%	6.2%	9.3%	7.3%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	3.0%	6.4%	7.9%	5.8%
	(2)	災害・事故の軽減	1 大きなメリットがあると思う	17.0%	18.9%	14.8%	16.9%
			2 ややメリットがあると思う	40.3%	33.5%	35.8%	36.6%
			3 どちらともいえない	33.5%	30.6%	27.7%	30.6%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	6.2%	9.2%	13.2%	9.5%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	3.0%	7.7%	8.5%	6.4%
	(3)	製品・サービスの品質向上	1 大きなメリットがあると思う	8.4%	18.5%	13.9%	13.6%
			2 ややメリットがあると思う	33.5%	35.4%	38.2%	35.7%
			3 どちらともいえない	43.6%	30.5%	30.8%	35.0%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	10.5%	8.6%	9.5%	9.5%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	4.0%	7.1%	7.5%	6.2%
	(4)	ソフトやアプリの品質向上	1 大きなメリットがあると思う	6.0%	16.2%	11.9%	11.4%
			2 ややメリットがあると思う	27.3%	30.5%	34.4%	30.7%
			3 どちらともいえない	47.0%	31.5%	33.2%	37.3%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	14.1%	12.0%	10.4%	12.2%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	5.5%	9.8%	10.1%	8.5%
	(5)	ソフトやアプリの開発	1 大きなメリットがあると思う	6.0%	16.6%	10.6%	11.1%
			2 ややメリットがあると思う	26.3%	29.2%	33.0%	29.5%
			3 どちらともいえない	47.7%	31.2%	35.1%	38.0%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	14.3%	12.6%	11.0%	12.6%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	5.7%	10.5%	10.3%	8.8%
	(6)	よりよい政策の実行	1 大きなメリットがあると思う	5.9%	17.4%	11.6%	11.6%
			2 ややメリットがあると思う	26.5%	31.1%	25.4%	27.6%
			3 どちらともいえない	46.5%	32.7%	33.9%	37.7%
			4 あまりメリットがあるとは思わない	14.5%	10.3%	15.1%	13.3%
			5 まったくメリットがあるとは思わない	6.6%	8.5%	14.1%	9.7%

		全体							
		日本	アメリカ	ドイツ	全体				
Q10	サービス事業者から、あなたに関する情報を他の事業者第三者提供との申し出があったら、あなたは同意しますか。	1 どのような条件でも同意する	3.2%	17.9%	13.0%	11.3%			
		2 一定の条件が満たされなければ同意しない	74.8%	58.6%	51.0%	61.5%			
		3 どのような条件でも同意しない	22.0%	23.5%	36.1%	27.2%			
Q11	どのような条件があれば、第三者提供に同意しますか。	N	1,160	908	790	2,858			
		(1)完全に匿名性が保証されている	1 同意する	91.6%	88.5%	92.7%	90.9%		
		2 同意しない	8.4%	11.5%	7.3%	9.1%			
		(2)提供する情報の内容や提供先が明示されている	1 同意する	83.7%	72.0%	74.2%	77.4%		
		2 同意しない	16.3%	28.0%	25.8%	22.6%			
		(3)提供する情報の内容や提供先の範囲を提供者がある程度設定できる	1 同意する	75.6%	80.6%	56.3%	71.9%		
		2 同意しない	24.4%	19.4%	43.7%	28.1%			
		(4)提供者の申し出で、後から提供を中止できる（それによる不利益を被らずに）	1 同意する	78.8%	83.8%	62.7%	75.9%		
		2 同意しない	21.2%	16.2%	37.3%	24.1%			
		(5)提供の見返りに、何らかの特典が得られる	1 同意する	66.2%	79.7%	59.4%	68.6%		
		2 同意しない	33.8%	20.3%	40.6%	31.4%			
		Q12	あなたは、以下のような場合の個人情報の活用に対してどのようにお考えですか。「活用への期待」と「リスクに対する不安」のどちらが大きいか、についてお答えください。	(1)防災に関わる内容や大規模災害などの緊急時の情報活用	1 「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい	11.7%	23.8%	17.5%	17.7%
					2 「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい	29.4%	23.7%	25.4%	26.2%
3 同じくらいである	44.1%				30.4%	37.8%	37.4%		
4 「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい	10.0%				10.0%	9.1%	9.7%		
5 「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい	4.8%				12.1%	10.1%	9.0%		
(2)国民の健康・福祉に関わる（医療・新薬開発等）情報活用	1 「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい			7.7%	15.4%	10.2%	11.1%		
	2 「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい			25.5%	28.5%	28.1%	27.3%		
	3 同じくらいである			48.0%	29.4%	39.8%	39.1%		
	4 「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい			12.3%	13.7%	10.1%	12.0%		
	5 「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい			6.5%	13.1%	11.9%	10.5%		
(3)交通渋滞、道路や橋の老朽化対策等の社会課題解決に関わる情報活用	1 「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい			6.3%	13.7%	8.3%	9.4%		
	2 「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい			18.6%	18.3%	20.6%	19.2%		
	3 同じくらいである			52.5%	32.8%	45.5%	43.6%		
	4 「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい			14.9%	16.5%	12.3%	14.6%		
	5 「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい			7.7%	18.8%	13.2%	13.2%		
(4)公共サービスの高品質化、利便性向上（公的手続きの迅速化・公的サービス拡充等）に関わる情報活用	1 「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい			5.0%	12.5%	7.5%	8.3%		
	2 「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい			19.2%	23.0%	20.3%	20.9%		
	3 同じくらいである			50.6%	30.1%	44.7%	41.8%		
	4 「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい			17.2%	16.0%	13.6%	15.6%		
	5 「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい			7.9%	18.5%	13.9%	13.4%		
(5)教育や研究など学問の発展に役立てるための情報活用	1 「活用への期待」は「リスクに対する不安」より大きい	5.5%	15.8%	9.7%	10.3%				
	2 「活用への期待」は「リスクに対する不安」よりやや大きい	18.8%	20.9%	24.3%	21.3%				
	3 同じくらいである	51.4%	32.1%	43.6%	42.4%				
	4 「リスクに対する不安」は「活用への期待」よりやや大きい	15.7%	13.3%	10.3%	13.1%				
	5 「リスクに対する不安」は「活用への期待」より大きい	8.6%	17.9%	12.1%	12.9%				
Q13	一般的に医療・健康に関する情報提供に関して、以下の事柄がどの程度重要だと思いますか。	(1)適切な同意取得	1 非常に重視する	42.8%	65.4%	55.0%	54.4%		
			2 ある程度重視する	33.8%	15.2%	23.2%	24.1%		
			3 どちらでもない	20.4%	14.8%	17.9%	17.7%		
			4 あまり重視しない	1.4%	2.1%	1.4%	1.6%		
			5 まったく重視しない	1.6%	2.6%	2.5%	2.2%		
		(2)適切な情報の取り扱い方法（氏名の削除など）	1 非常に重視する	44.5%	59.7%	53.9%	52.7%		
			2 ある程度重視する	30.7%	19.9%	22.6%	24.4%		
			3 どちらでもない	21.7%	15.3%	19.4%	18.8%		
			4 あまり重視しない	1.4%	2.6%	1.6%	1.9%		
			5 まったく重視しない	1.7%	2.5%	2.6%	2.3%		
		(3)提供する情報の種類	1 非常に重視する	34.6%	53.2%	41.1%	43.0%		
			2 ある程度重視する	37.9%	22.5%	32.4%	30.9%		
			3 どちらでもない	24.1%	19.7%	22.2%	22.0%		
			4 あまり重視しない	1.7%	2.5%	1.9%	2.0%		
			5 まったく重視しない	1.7%	2.2%	2.5%	2.1%		
		(4)情報提供先の組織・企業がどこか	1 非常に重視する	35.5%	49.3%	48.1%	44.3%		
			2 ある程度重視する	34.9%	25.1%	24.3%	28.1%		
			3 どちらでもない	25.7%	18.8%	22.5%	22.3%		
			4 あまり重視しない	2.1%	4.3%	2.6%	3.0%		
			5 まったく重視しない	1.7%	2.5%	2.6%	2.3%		
		(5)自分へのメリット還元（ポイントや割引の付与など）	1 非常に重視する	20.3%	37.0%	16.5%	24.6%		
			2 ある程度重視する	32.1%	28.2%	22.5%	27.6%		
			3 どちらでもない	37.7%	24.5%	35.0%	32.4%		
			4 あまり重視しない	6.1%	5.2%	12.9%	8.0%		
5 まったく重視しない	3.7%		5.2%	13.2%	7.4%				
(6)利用目的の公共性	1 非常に重視する	28.5%	42.6%	32.6%	34.6%				
	2 ある程度重視する	37.7%	26.1%	25.4%	29.7%				
	3 どちらでもない	29.5%	22.8%	32.1%	28.2%				
	4 あまり重視しない	2.3%	4.6%	5.2%	4.0%				
	5 まったく重視しない	2.0%	3.9%	4.6%	3.5%				

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q14	あなたの医療・健康情報を提供する際、同意するにあたって、以下の事柄をどの程度、重要視しますか。					
(1)	情報の利用目的	1 非常に重視する	44.2%	63.0%	50.8%	52.7%
		2 ある程度重視する	33.7%	19.0%	23.5%	25.4%
		3 どちらでもない	19.4%	13.6%	21.5%	18.2%
		4 あまり重視しない	1.5%	1.9%	1.7%	1.7%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.5%	2.4%	2.0%
(2)	情報の外部送信・第3者提供の有無	1 非常に重視する	42.2%	58.8%	52.1%	50.0%
		2 ある程度重視する	31.9%	23.9%	21.2%	25.7%
		3 どちらでもない	22.8%	15.4%	20.9%	19.7%
		4 あまり重視しない	1.8%	2.6%	3.0%	2.5%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.2%	2.9%	2.1%
(3)	取得する情報項目	1 非常に重視する	37.4%	57.7%	37.9%	44.3%
		2 ある程度重視する	35.4%	20.9%	25.9%	27.4%
		3 どちらでもない	24.5%	17.2%	27.9%	23.2%
		4 あまり重視しない	1.5%	1.9%	4.5%	2.6%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.2%	3.9%	2.4%
(4)	情報取得者の情報	1 非常に重視する	37.9%	53.6%	44.7%	45.4%
		2 ある程度重視する	34.5%	24.0%	24.6%	27.7%
		3 どちらでもない	24.6%	16.9%	24.8%	22.1%
		4 あまり重視しない	1.9%	3.1%	3.4%	2.8%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.4%	2.6%	2.0%
(5)	適切な情報破棄の仕組み	1 非常に重視する	38.8%	53.0%	44.3%	45.4%
		2 ある程度重視する	32.9%	22.8%	25.1%	26.9%
		3 どちらでもない	25.4%	18.6%	24.5%	22.8%
		4 あまり重視しない	1.7%	2.5%	3.5%	2.5%
		5 まったく重視しない	1.2%	3.2%	2.6%	2.3%
(6)	第3者提供を行う場合はその提供先	1 非常に重視する	42.3%	52.4%	51.3%	48.6%
		2 ある程度重視する	29.4%	24.5%	19.7%	24.6%
		3 どちらでもない	25.4%	17.0%	24.1%	22.2%
		4 あまり重視しない	1.6%	3.6%	2.4%	2.5%
		5 まったく重視しない	1.3%	2.5%	2.5%	2.1%
(7)	一定期間後の情報削除およびその規定	1 非常に重視する	36.9%	55.2%	49.9%	47.3%
		2 ある程度重視する	33.2%	22.3%	20.7%	25.4%
		3 どちらでもない	26.5%	18.0%	24.4%	22.9%
		4 あまり重視しない	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.3%	2.6%	2.0%
(8)	情報の取得方法	1 非常に重視する	33.0%	55.3%	38.8%	42.4%
		2 ある程度重視する	34.3%	25.2%	27.2%	28.9%
		3 どちらでもない	29.1%	15.2%	27.7%	24.0%
		4 あまり重視しない	2.4%	2.0%	4.0%	2.8%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.3%	2.3%	1.9%
(9)	いつでも情報の収集や使用を無効にできる仕組みの有無 (オプトアウト)	1 非常に重視する	35.6%	61.8%	44.8%	47.4%
		2 ある程度重視する	33.4%	18.1%	23.7%	25.1%
		3 どちらでもない	28.0%	15.4%	26.0%	23.1%
		4 あまり重視しない	1.8%	2.1%	2.9%	2.3%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.6%	2.5%	2.1%
(10)	プライバシーポリシー変更時の手続きや通知方法	1 非常に重視する	37.2%	53.2%	42.3%	44.3%
		2 ある程度重視する	32.5%	24.0%	26.5%	27.7%
		3 どちらでもない	27.0%	17.2%	25.9%	23.4%
		4 あまり重視しない	2.0%	3.0%	2.9%	2.6%
		5 まったく重視しない	1.2%	2.6%	2.4%	2.1%
(11)	問い合わせ窓口	1 非常に重視する	30.1%	51.6%	44.0%	41.9%
		2 ある程度重視する	34.6%	24.8%	25.9%	28.5%
		3 どちらでもない	30.1%	19.0%	24.7%	24.6%
		4 あまり重視しない	3.6%	1.9%	2.8%	2.8%
		5 まったく重視しない	1.5%	2.6%	2.6%	2.3%

		全体			
		日本	アメリカ	ドイツ	全体
Q15	あなたに関する以下の情報の公開について、どのようにお考えですか。 それぞれもっともあてはまるものを1つ選択してください。 ※該当しない項目がある場合も、想定してお答えください。				
(1) 氏名	1 どのような場合でも公開したくない	40.0%	41.1%	43.3%	41.5%
	2 どちらかといえば公開したくない	42.1%	21.1%	28.5%	30.5%
	3 どちらでもよい	14.1%	18.1%	17.0%	16.4%
	4 どちらかといえば公開してもよい	2.8%	13.2%	9.0%	8.4%
	5 どのような場合でも公開してもよい	1.0%	6.5%	2.2%	3.2%
(2) 会社名	1 どのような場合でも公開したくない	32.9%	29.6%	36.8%	33.1%
	2 どちらかといえば公開したくない	37.4%	21.3%	25.1%	27.9%
	3 どちらでもよい	25.1%	27.0%	27.7%	26.6%
	4 どちらかといえば公開してもよい	3.5%	15.1%	7.6%	8.8%
	5 どのような場合でも公開してもよい	1.1%	7.0%	2.8%	3.6%
(3) 会社・組織での役職名	1 どのような場合でも公開したくない	29.1%	27.5%	34.6%	30.4%
	2 どちらかといえば公開したくない	33.9%	17.9%	25.1%	25.7%
	3 どちらでもよい	31.0%	28.5%	29.7%	29.7%
	4 どちらかといえば公開してもよい	4.1%	18.6%	7.5%	10.1%
	5 どのような場合でも公開してもよい	1.9%	7.5%	3.0%	4.1%
(4) メールアドレス	1 どのような場合でも公開したくない	42.2%	38.9%	40.3%	40.5%
	2 どちらかといえば公開したくない	37.8%	24.6%	30.5%	31.0%
	3 どちらでもよい	16.5%	19.8%	18.1%	18.1%
	4 どちらかといえば公開してもよい	2.6%	12.5%	9.1%	8.1%
	5 どのような場合でも公開してもよい	0.9%	4.2%	2.1%	2.4%
(5) 電話番号	1 どのような場合でも公開したくない	48.5%	50.1%	56.6%	51.8%
	2 どちらかといえば公開したくない	34.3%	22.6%	25.0%	27.3%
	3 どちらでもよい	14.3%	16.1%	11.9%	14.1%
	4 どちらかといえば公開してもよい	1.8%	6.2%	4.2%	4.1%
	5 どのような場合でも公開してもよい	1.0%	5.0%	2.2%	2.7%
(6) 居住地	1 どのような場合でも公開したくない	35.9%	47.9%	44.5%	42.8%
	2 どちらかといえば公開したくない	33.2%	24.4%	26.5%	28.0%
	3 どちらでもよい	22.6%	15.9%	18.3%	18.9%
	4 どちらかといえば公開してもよい	6.7%	8.2%	7.6%	7.5%
	5 どのような場合でも公開してもよい	1.5%	3.6%	3.2%	2.8%
(7) 趣味	1 どのような場合でも公開したくない	15.3%	22.8%	28.6%	22.2%
	2 どちらかといえば公開したくない	25.3%	17.0%	20.8%	21.0%
	3 どちらでもよい	38.3%	28.6%	33.9%	33.6%
	4 どちらかといえば公開してもよい	17.0%	20.9%	12.3%	16.8%
	5 どのような場合でも公開してもよい	4.1%	10.8%	4.3%	6.4%
(8) 病歴・病状	1 どのような場合でも公開したくない	23.4%	33.0%	45.7%	34.0%
	2 どちらかといえば公開したくない	32.8%	24.0%	24.0%	26.9%
	3 どちらでもよい	31.5%	24.1%	18.0%	24.5%
	4 どちらかといえば公開してもよい	10.3%	13.6%	8.7%	10.9%
	5 どのような場合でも公開してもよい	2.1%	5.2%	3.6%	3.6%
(9) 宗教	1 どのような場合でも公開したくない	17.2%	27.4%	30.9%	25.2%
	2 どちらかといえば公開したくない	21.1%	16.5%	17.5%	18.3%
	3 どちらでもよい	47.4%	25.5%	35.8%	36.2%
	4 どちらかといえば公開してもよい	9.1%	18.1%	10.2%	12.5%
	5 どのような場合でも公開してもよい	5.2%	12.5%	5.6%	7.8%
(10) 思想・信条	1 どのような場合でも公開したくない	17.7%	27.2%	33.3%	26.1%
	2 どちらかといえば公開したくない	23.6%	20.1%	19.7%	21.1%
	3 どちらでもよい	45.0%	26.1%	33.2%	34.8%
	4 どちらかといえば公開してもよい	9.5%	16.8%	9.1%	11.8%
	5 どのような場合でも公開してもよい	4.1%	9.7%	4.7%	6.2%



		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q16	(1) パソコン(タブレット端末含む)や携帯電話(スマートフォン、PHS含む)でインターネット(メールを含む)を利用する時に、起こるかもしれない以下のトラブルについて、あなたのお気に最も近いものに1~5の中から1つ選択してください。					
	金融機関などを装ったメールで、偽のサイトに誘導され、クレジットカード番号などを入力させられる	1 とても不安	42.7%	55.4%	52.1%	50.0%
		2 やや不安	35.2%	23.4%	16.4%	25.0%
		3 どちらともいえない	15.6%	12.4%	21.7%	16.6%
		4 あまり不安ではない	4.6%	5.5%	6.0%	5.4%
		5 まったく不安ではない	1.9%	3.4%	3.8%	3.0%
	(2) 利用した覚えのないネットサービス利用料金を請求される	1 とても不安	41.7%	52.1%	49.7%	47.8%
		2 やや不安	34.8%	27.1%	18.6%	26.9%
		3 どちらともいえない	15.9%	12.6%	23.0%	17.2%
		4 あまり不安ではない	5.5%	6.3%	5.9%	5.9%
		5 まったく不安ではない	2.0%	1.9%	2.8%	2.2%
	(3) ネットショッピングで支払いに利用したクレジットカードの情報が悪用される	1 とても不安	49.7%	53.6%	46.5%	50.0%
		2 やや不安	30.1%	24.1%	20.4%	24.8%
		3 どちらともいえない	16.2%	15.2%	24.2%	18.5%
		4 あまり不安ではない	2.4%	4.8%	6.3%	4.5%
		5 まったく不安ではない	1.6%	2.3%	2.6%	2.2%
	(4) ネットショッピングで購入した商品が届かなかったり、商品の状態が悪かったり、思っていたものと違ったりする	1 とても不安	33.5%	40.6%	26.9%	33.7%
2 やや不安		38.5%	30.1%	25.6%	31.4%	
3 どちらともいえない		21.8%	16.4%	29.9%	22.7%	
4 あまり不安ではない		5.4%	10.4%	13.9%	9.9%	
5 まったく不安ではない		0.8%	2.6%	3.7%	2.4%	
(5) メール宛先を間違えて情報が漏えいする	1 とても不安	35.0%	38.7%	31.8%	35.2%	
	2 やや不安	34.3%	26.3%	25.6%	28.8%	
	3 どちらともいえない	23.2%	19.5%	30.7%	24.5%	
	4 あまり不安ではない	6.1%	10.8%	8.2%	8.4%	
	5 まったく不安ではない	1.5%	4.6%	3.7%	3.3%	
(6) 悪戯や不要な広告などの迷惑メールが大量に届く	1 とても不安	37.4%	38.1%	36.1%	37.2%	
	2 やや不安	36.3%	33.2%	22.1%	30.5%	
	3 どちらともいえない	20.5%	16.8%	28.3%	21.9%	
	4 あまり不安ではない	4.1%	8.8%	9.4%	7.5%	
	5 まったく不安ではない	1.7%	3.2%	4.1%	3.0%	
(7) ウィルスや悪いソフトウェアの被害に遭う	1 とても不安	47.7%	54.5%	47.0%	49.7%	
	2 やや不安	32.1%	23.3%	21.4%	25.6%	
	3 どちらともいえない	16.6%	15.3%	23.3%	18.4%	
	4 あまり不安ではない	2.5%	4.6%	6.1%	4.4%	
	5 まったく不安ではない	1.0%	2.3%	2.2%	1.8%	
(8) 出会い系サイトを利用して、犯罪の被害に遭う	1 とても不安	29.8%	34.6%	39.7%	34.7%	
	2 やや不安	25.4%	19.1%	20.0%	21.5%	
	3 どちらともいえない	24.3%	19.8%	30.0%	24.7%	
	4 あまり不安ではない	11.7%	9.2%	5.9%	8.9%	
	5 まったく不安ではない	8.8%	17.3%	4.5%	10.2%	
(9) インターネット上で悪口・暴言・挑発的な言葉を書かれる	1 とても不安	28.8%	34.2%	35.2%	32.7%	
	2 やや不安	28.8%	21.1%	22.3%	24.1%	
	3 どちらともいえない	27.7%	21.6%	30.3%	26.5%	
	4 あまり不安ではない	10.2%	12.5%	7.7%	10.1%	
	5 まったく不安ではない	4.5%	10.6%	4.6%	6.6%	
(10) 他人によって、自宅住所や電話番号を勝手にインターネットに載せられる	1 とても不安	43.4%	46.2%	40.7%	43.4%	
	2 やや不安	30.0%	26.5%	25.0%	27.1%	
	3 どちらともいえない	21.2%	17.0%	25.2%	21.2%	
	4 あまり不安ではない	4.0%	6.5%	6.2%	5.6%	
	5 まったく不安ではない	1.4%	3.8%	2.9%	2.7%	
(11) 自分のIDやパスワードが勝手に使われる	1 とても不安	51.0%	53.1%	46.3%	50.2%	
	2 やや不安	29.7%	22.5%	20.1%	24.1%	
	3 どちらともいえない	16.5%	15.2%	23.5%	18.4%	
	4 あまり不安ではない	1.8%	6.0%	7.0%	4.9%	
	5 まったく不安ではない	1.0%	3.2%	3.1%	2.4%	
(12) 住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する	1 とても不安	49.1%	51.0%	40.8%	47.0%	
	2 やや不安	30.1%	25.9%	24.6%	26.9%	
	3 どちらともいえない	17.7%	15.5%	25.2%	19.5%	
	4 あまり不安ではない	2.1%	4.9%	6.9%	4.6%	
	5 まったく不安ではない	1.0%	2.6%	2.5%	2.0%	
(13) パスワードを忘れてしまう	1 とても不安	26.3%	27.5%	25.6%	26.5%	
	2 やや不安	37.6%	29.9%	22.5%	30.0%	
	3 どちらともいえない	26.6%	21.7%	33.4%	27.2%	
	4 あまり不安ではない	7.0%	13.5%	11.7%	10.7%	
	5 まったく不安ではない	2.5%	7.4%	6.8%	5.6%	
(14) 利用料金がいくらなのかわからない	1 とても不安	31.9%	41.0%	34.1%	35.7%	
	2 やや不安	34.5%	27.9%	23.0%	28.5%	
	3 どちらともいえない	25.6%	19.1%	31.0%	25.2%	
	4 あまり不安ではない	5.8%	7.4%	8.3%	7.1%	
	5 まったく不安ではない	2.3%	4.6%	3.6%	3.5%	
(15) 公にしている健康状態、知られたくない趣味や嗜好などが推定されてしまう	1 とても不安	30.5%	38.1%	36.3%	34.9%	
	2 やや不安	32.5%	25.5%	23.5%	27.2%	
	3 どちらともいえない	28.5%	22.7%	29.4%	26.9%	
	4 あまり不安ではない	6.1%	9.1%	8.1%	7.8%	
	5 まったく不安ではない	2.5%	4.6%	2.6%	3.3%	
(16) 自分の行動パターンが分かっってしまう	1 とても不安	33.6%	35.2%	36.9%	35.2%	
	2 やや不安	32.0%	29.7%	26.7%	29.5%	
	3 どちらともいえない	26.5%	22.1%	26.3%	25.0%	
	4 あまり不安ではない	6.2%	8.6%	7.7%	7.5%	
	5 まったく不安ではない	1.7%	4.5%	2.4%	2.8%	



		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q17	あなたは、以下のような考えについて、自分はあてはまると感じますか？					
(1)	世の中の多くの人は基本的に正直である	1 そう思う	3.5%	21.7%	7.7%	11.0%
		2 ややそう思う	25.0%	33.4%	28.3%	28.9%
		3 どちらともいえない	39.0%	24.5%	29.0%	30.8%
		4 あまりそう思わない	23.6%	12.6%	24.2%	20.2%
		5 そう思わない	8.8%	7.8%	10.8%	9.1%
(2)	世の中の多くの人は信頼できる	1 そう思う	2.5%	15.5%	6.3%	8.1%
		2 ややそう思う	22.1%	36.1%	26.5%	28.2%
		3 どちらともいえない	41.4%	26.6%	31.5%	33.2%
		4 あまりそう思わない	24.3%	14.5%	24.1%	20.9%
		5 そう思わない	9.8%	7.3%	11.5%	9.5%
(3)	世の中の多くの人は他人を信頼している	1 そう思う	2.4%	15.5%	5.5%	7.8%
		2 ややそう思う	20.5%	35.0%	30.3%	28.6%
		3 どちらともいえない	44.6%	28.9%	37.7%	37.1%
		4 あまりそう思わない	23.9%	15.4%	18.9%	19.4%
		5 そう思わない	8.6%	5.1%	7.5%	7.1%
(4)	ネット上の多くの人は基本的に正直である	1 そう思う	1.9%	11.9%	4.2%	6.0%
		2 ややそう思う	10.4%	22.7%	15.9%	16.3%
		3 どちらともいえない	40.8%	29.4%	30.3%	33.5%
		4 あまりそう思わない	28.4%	21.5%	27.8%	25.9%
		5 そう思わない	18.5%	14.5%	21.8%	18.3%
(5)	ネット上の多くの人は信頼できる	1 そう思う	1.2%	12.1%	3.7%	5.7%
		2 ややそう思う	7.6%	19.8%	13.9%	13.8%
		3 どちらともいえない	38.0%	31.8%	31.5%	33.8%
		4 あまりそう思わない	31.0%	21.0%	29.0%	27.0%
		5 そう思わない	22.2%	15.3%	21.8%	19.8%
(6)	ネット上の多くの人は他人を信頼している	1 そう思う	1.6%	10.6%	4.1%	5.4%
		2 ややそう思う	8.3%	24.0%	22.3%	18.2%
		3 どちらともいえない	37.1%	34.3%	37.7%	36.3%
		4 あまりそう思わない	31.9%	19.9%	24.3%	25.4%
		5 そう思わない	21.0%	11.2%	11.7%	14.6%
(7)	病院や診療所に行くことで、他の患者とのコミュニケーションができる	1 そう思う	2.1%	15.9%	18.8%	12.3%
		2 ややそう思う	16.5%	25.9%	36.8%	26.4%
		3 どちらともいえない	45.1%	40.3%	30.7%	38.7%
		4 あまりそう思わない	25.0%	9.9%	8.8%	14.6%
		5 そう思わない	11.4%	8.1%	4.8%	8.1%
(8)	大体において、私の人生は私の理想に近い	1 そう思う	2.5%	16.8%	12.5%	10.6%
		2 ややそう思う	13.2%	33.1%	36.1%	27.5%
		3 どちらともいえない	42.0%	27.4%	34.3%	34.6%
		4 あまりそう思わない	25.6%	12.1%	11.0%	16.2%
		5 そう思わない	16.7%	10.6%	6.2%	11.2%
(9)	私の人生は、とても素晴らしい状態だ	1 そう思う	2.8%	18.3%	11.3%	10.8%
		2 ややそう思う	15.2%	30.4%	31.0%	25.5%
		3 どちらともいえない	43.4%	28.2%	37.0%	36.2%
		4 あまりそう思わない	22.8%	13.8%	12.8%	16.5%
		5 そう思わない	15.8%	9.3%	7.9%	11.0%
(10)	私は、自分の人生に満足している	1 そう思う	4.3%	23.7%	19.5%	15.8%
		2 ややそう思う	21.4%	36.1%	35.4%	31.0%
		3 どちらともいえない	40.2%	21.6%	28.3%	30.0%
		4 あまりそう思わない	19.4%	11.4%	11.0%	13.9%
		5 そう思わない	14.8%	7.2%	5.8%	9.3%
(11)	私はこれまでの人生の中で、こうしたいと思った重要なことはなしと捨ててきた	1 そう思う	3.2%	24.1%	16.0%	14.4%
		2 ややそう思う	15.5%	34.8%	33.4%	27.9%
		3 どちらともいえない	41.1%	24.1%	31.1%	32.1%
		4 あまりそう思わない	24.8%	9.9%	13.9%	16.2%
		5 そう思わない	15.4%	7.2%	5.6%	9.4%
(12)	人生をもう一度やり直せるとしても、変えたいことはほとんどない	1 そう思う	2.6%	17.5%	11.5%	10.6%
		2 ややそう思う	11.0%	26.1%	25.4%	20.8%
		3 どちらともいえない	33.4%	24.9%	27.9%	28.7%
		4 あまりそう思わない	29.9%	18.5%	23.4%	23.9%
		5 そう思わない	23.2%	13.0%	11.8%	16.0%
Q18	日ごろの習慣として次のようなことをしていますか。あてはまるものをすべて選択してください。					
		1 体重を測定している	46.0%	31.0%	47.0%	41.3%
		2 血圧を測定している	15.8%	13.7%	23.2%	17.6%
		3 できるだけ歩くようにしている	42.7%	57.8%	54.5%	51.7%
		4 筋力トレーニングをしている	15.7%	20.6%	14.8%	17.0%
		5 定期的にスポーツジムに通っている	6.8%	16.4%	13.9%	12.4%
		6 スポーツをしている	14.5%	9.5%	39.6%	21.2%
		7 上記にあてはまるものはない	28.2%	23.9%	16.6%	22.9%

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q19	あなたは、病院や健康・医療に関して、以下の事柄があてはまりますか。それぞれあてはまるものを選択してください。					
(1)	病院に行っても待たされてイライラする	1 あてはまる	14.7%	28.5%	29.7%	24.3%
		2 ややあてはまる	36.1%	32.8%	37.0%	35.3%
		3 どちらともいえない	26.5%	22.4%	23.8%	24.2%
		4 あまりあてはまらない	17.0%	9.9%	5.2%	10.7%
		5 あてはまらない	5.7%	6.4%	4.3%	5.5%
(2)	近くに病院がない	1 あてはまる	3.8%	8.5%	6.3%	6.2%
		2 ややあてはまる	11.0%	14.3%	14.1%	13.1%
		3 どちらともいえない	27.2%	14.5%	17.2%	19.6%
		4 あまりあてはまらない	33.9%	18.9%	23.0%	25.3%
		5 あてはまらない	24.1%	43.8%	39.4%	35.8%
(3)	かかりつけの病院がない	1 あてはまる	11.5%	17.4%	15.5%	14.8%
		2 ややあてはまる	19.1%	13.0%	17.7%	16.6%
		3 どちらともいえない	25.6%	16.0%	31.8%	24.5%
		4 あまりあてはまらない	24.0%	10.2%	15.1%	16.4%
		5 あてはまらない	19.8%	43.5%	19.8%	27.7%
(4)	複数の病院で、病歴を説明するのが面倒だ	1 あてはまる	12.6%	20.4%	16.2%	16.4%
		2 ややあてはまる	30.5%	27.7%	27.1%	28.4%
		3 どちらともいえない	34.9%	27.7%	38.1%	33.6%
		4 あまりあてはまらない	14.1%	12.1%	10.5%	12.2%
		5 あてはまらない	8.0%	12.1%	8.1%	9.4%
(5)	家族の健康が気になる	1 あてはまる	21.9%	28.5%	61.6%	37.4%
		2 ややあてはまる	39.4%	28.1%	16.4%	28.0%
		3 どちらともいえない	29.5%	26.1%	16.6%	24.1%
		4 あまりあてはまらない	5.5%	9.0%	2.6%	5.7%
		5 あてはまらない	3.6%	8.3%	2.8%	4.9%
(6)	緊急の際に、病歴を説明できない	1 あてはまる	5.2%	11.5%	10.3%	9.0%
		2 ややあてはまる	15.5%	15.7%	17.9%	16.4%
		3 どちらともいえない	42.3%	26.8%	36.8%	35.3%
		4 あまりあてはまらない	24.1%	18.4%	17.6%	20.0%
		5 あてはまらない	12.8%	27.7%	17.4%	19.3%
(7)	病院に行っても、どのくらい費用がかかるか分からないのが不安	1 あてはまる	17.3%	25.4%	10.9%	17.8%
		2 ややあてはまる	33.2%	24.8%	20.0%	26.0%
		3 どちらともいえない	33.4%	25.8%	32.4%	30.5%
		4 あまりあてはまらない	11.0%	10.3%	18.0%	13.1%
		5 あてはまらない	5.1%	13.7%	18.7%	12.5%
(8)	家族に病気のことをうまく伝えられない	1 あてはまる	4.5%	12.5%	6.7%	7.9%
		2 ややあてはまる	14.2%	19.8%	16.5%	16.8%
		3 どちらともいえない	43.2%	27.8%	34.5%	35.1%
		4 あまりあてはまらない	22.9%	17.7%	19.6%	20.1%
		5 あてはまらない	15.2%	22.2%	22.8%	20.1%
(9)	病院で説明を受けても分からない	1 あてはまる	4.8%	9.7%	5.8%	6.8%
		2 ややあてはまる	15.8%	15.8%	14.4%	15.3%
		3 どちらともいえない	41.5%	26.3%	39.3%	35.7%
		4 あまりあてはまらない	24.0%	22.3%	21.7%	22.6%
		5 あてはまらない	13.8%	25.9%	18.8%	19.5%
(10)	病院をたらいまわしにされるのが不安	1 あてはまる	9.4%	13.9%	7.2%	10.2%
		2 ややあてはまる	24.5%	24.1%	14.5%	21.0%
		3 どちらともいえない	42.8%	27.5%	35.9%	35.4%
		4 あまりあてはまらない	16.5%	15.4%	19.5%	17.1%
		5 あてはまらない	6.9%	19.2%	22.9%	16.3%
(11)	ふだんの健康管理ができない	1 あてはまる	4.3%	8.9%	5.0%	6.0%
		2 ややあてはまる	15.6%	12.6%	12.8%	13.7%
		3 どちらともいえない	46.3%	22.9%	39.2%	36.1%
		4 あまりあてはまらない	25.2%	20.5%	19.7%	21.8%
		5 あてはまらない	8.6%	35.2%	23.4%	22.4%
(12)	複数の病院で同じ検査を受けさせられる	1 あてはまる	7.3%	11.6%	5.4%	8.1%
		2 ややあてはまる	18.5%	17.6%	16.5%	17.5%
		3 どちらともいえない	45.3%	29.5%	35.9%	36.9%
		4 あまりあてはまらない	17.9%	13.1%	16.6%	15.9%
		5 あてはまらない	11.0%	28.2%	25.6%	21.6%
(13)	検査の結果の説明が不十分だ	1 あてはまる	6.4%	13.5%	9.2%	9.7%
		2 ややあてはまる	19.7%	20.2%	22.5%	20.8%
		3 どちらともいえない	49.4%	29.0%	37.7%	38.7%
		4 あまりあてはまらない	17.0%	13.3%	15.9%	15.4%
		5 あてはまらない	7.6%	23.9%	14.8%	15.4%

		全体				
		日本	アメリカ	ドイツ	全体	
Q20	あなたに関する医療・健康情報について、以下のことをどのようにお考えですか。					
(1)	担当の医師以外に閲覧される	1 大いに抵抗がある	6.6%	29.5%	21.3%	19.1%
		2 やや抵抗がある	21.3%	31.0%	28.7%	27.0%
		3 どちらともいえない	36.4%	22.0%	31.0%	29.8%
		4 あまり抵抗がない	27.9%	13.0%	15.7%	18.9%
		5 まったく抵抗がない	7.8%	4.5%	3.3%	5.2%
(2)	収集・蓄積される	1 大いに抵抗がある	8.1%	24.3%	16.8%	16.4%
		2 やや抵抗がある	22.3%	32.9%	24.5%	26.6%
		3 どちらともいえない	41.0%	23.7%	37.2%	34.0%
		4 あまり抵抗がない	22.8%	13.4%	16.6%	17.6%
		5 まったく抵抗がない	5.7%	5.7%	4.9%	5.5%
(3)	公開される	1 大いに抵抗がある	35.4%	44.6%	50.3%	43.4%
		2 やや抵抗がある	34.2%	26.8%	18.5%	26.5%
		3 どちらともいえない	22.4%	20.4%	24.3%	22.3%
		4 あまり抵抗がない	5.9%	5.0%	5.5%	5.5%
		5 まったく抵抗がない	2.1%	3.2%	1.5%	2.3%
(4)	分析される	1 大いに抵抗がある	13.2%	21.3%	13.3%	15.9%
		2 やや抵抗がある	24.3%	27.1%	17.2%	22.9%
		3 どちらともいえない	37.4%	26.5%	35.9%	33.2%
		4 あまり抵抗がない	20.5%	16.5%	21.9%	19.6%
		5 まったく抵抗がない	4.6%	8.6%	11.8%	8.3%
(5)	売買される	1 大いに抵抗がある	60.3%	59.8%	56.5%	58.9%
		2 やや抵抗がある	19.2%	18.5%	14.3%	17.3%
		3 どちらともいえない	16.4%	15.1%	22.4%	18.0%
		4 あまり抵抗がない	2.7%	3.5%	4.6%	3.6%
		5 まったく抵抗がない	1.4%	3.1%	2.1%	2.2%
Q21	医療分野に係るサービスやアプリケーションを、インターネットを通じて利用する場合に考えられる懸念や利用しない理由としてあてはまるものすべてをお答えください。					
		1 インターネットや端末を使いこなす自信がない	16.7%	13.2%	9.4%	13.1%
		2 インターネット回線や必要な端末を用意することができない	7.6%	8.9%	7.0%	7.8%
		3 利用時の通信費用が負担	16.9%	20.9%	11.2%	16.3%
		4 端末を設定や操作することが面倒	16.3%	15.0%	10.6%	13.9%
		5 専門家に直接会って診察や指導を受けたい	29.7%	45.9%	41.7%	39.1%
		6 自分の情報をアップロードすることにセキュリティの面で不安がある	38.5%	33.0%	29.9%	33.8%
		7 自分の情報をアップロードすることにはプライバシー保護の観点から不安・抵抗がある	36.1%	30.3%	31.5%	32.6%
		8 その他 [ ]	0.5%	2.2%	1.7%	1.5%
		9 懸念や利用しない理由はない	27.7%	21.0%	26.1%	24.9%
Q22	以下の、生活者情報が利活用されることにより、自分のプライバシーが侵害されることに不安を感じる理由について、それぞれあてはまるものを選択してください。					
(1)	規約類に書かれているものと異なる目的で利活用される恐れがある	1 非常に不安である	25.9%	45.7%	35.2%	35.6%
		2 ある程度不安である	46.0%	32.2%	34.9%	37.7%
		3 どちらでもない	24.1%	15.0%	23.6%	20.9%
		4 あまり不安でない	3.3%	5.5%	4.7%	4.5%
		5 まったく不安でない	0.7%	1.7%	1.6%	1.3%
(2)	利活用されたくない場合に、本人に拒否権がない	1 非常に不安である	32.5%	40.6%	33.1%	35.4%
		2 ある程度不安である	39.7%	32.7%	31.6%	34.7%
		3 どちらでもない	25.4%	19.3%	26.9%	23.8%
		4 あまり不安でない	1.7%	4.6%	6.5%	4.2%
		5 まったく不安でない	0.8%	2.8%	1.9%	1.8%
(3)	利活用の目的や内容の説明が十分でない	1 非常に不安である	27.5%	33.0%	27.4%	29.3%
		2 ある程度不安である	40.3%	33.4%	32.0%	35.2%
		3 どちらでもない	29.7%	25.8%	31.4%	28.9%
		4 あまり不安でない	1.7%	6.0%	7.2%	5.0%
		5 まったく不安でない	0.8%	1.8%	2.1%	1.6%
(4)	企業などが、プライバシーの保護対策に積極的でない	1 非常に不安である	29.9%	37.2%	31.2%	32.8%
		2 ある程度不安である	34.5%	32.2%	27.8%	31.5%
		3 どちらでもない	31.4%	22.1%	31.7%	28.4%
		4 あまり不安でない	3.5%	6.6%	7.6%	5.9%
		5 まったく不安でない	0.6%	1.9%	1.7%	1.4%
(5)	企業などが、自分に関するさまざまな情報を収集している	1 非常に不安である	26.3%	37.5%	33.4%	32.4%
		2 ある程度不安である	35.2%	32.5%	29.1%	32.3%
		3 どちらでもない	34.6%	21.4%	27.2%	27.7%
		4 あまり不安でない	3.4%	5.9%	7.7%	5.7%
		5 まったく不安でない	0.6%	2.7%	2.6%	2.0%
(6)	匿名化などの加工処理が十分に行われていない	1 非常に不安である	31.0%	39.3%	31.7%	34.0%
		2 ある程度不安である	35.0%	32.9%	28.9%	32.3%
		3 どちらでもない	30.6%	20.2%	30.2%	27.0%
		4 あまり不安でない	2.8%	5.5%	7.7%	5.3%
		5 まったく不安でない	0.6%	2.1%	1.5%	1.4%
(7)	自分が得られるメリットがない	1 非常に不安である	22.5%	30.6%	20.3%	24.4%
		2 ある程度不安である	33.3%	28.1%	23.0%	28.1%
		3 どちらでもない	38.8%	29.5%	43.8%	37.4%
		4 あまり不安でない	4.3%	8.2%	8.7%	7.1%
		5 まったく不安でない	1.1%	3.6%	4.3%	3.0%
(8)	利活用の目的や成果などに社会的な意義を感じない	1 非常に不安である	19.4%	28.1%	21.0%	22.8%
		2 ある程度不安である	33.0%	31.0%	24.3%	29.4%
		3 どちらでもない	42.6%	31.4%	43.4%	39.1%
		4 あまり不安でない	4.2%	6.8%	8.8%	6.6%
		5 まったく不安でない	0.8%	2.8%	2.6%	2.0%

		全体					
		日本	アメリカ	ドイツ	全体		
Q23	あなたの医療・健康情報について、次の取り組みが行われた場合、不安はどれくらい減りますか。	不安がなくなる					
		1 不安がなくなる	9.2%	25.0%	11.4%	15.2%	
		2 ほほ不安がなくなる	33.9%	33.9%	26.5%	31.4%	
		3 やや不安が減る	37.5%	22.0%	25.9%	28.5%	
		4 変わらない	19.4%	19.2%	36.2%	24.9%	
		(2) 企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していたことが明らかになった場合に、政府がその企業などに罰金や罰則を科す	1 不安がなくなる	9.4%	18.9%	9.6%	12.6%
			2 ほほ不安がなくなる	30.7%	35.2%	26.4%	30.8%
			3 やや不安が減る	38.1%	22.3%	26.9%	29.1%
			4 変わらない	21.8%	23.6%	37.1%	27.5%
		(3) 企業などが不適切に医療・健康情報を二次利用していると思われる場合に、自身の情報の利用停止、削除などを企業または裁判所に請求できる	1 不安がなくなる	11.2%	22.2%	11.0%	14.8%
			2 ほほ不安がなくなる	29.9%	33.0%	25.5%	29.5%
			3 やや不安が減る	36.7%	24.2%	25.6%	28.8%
			4 変わらない	22.2%	20.6%	37.8%	26.9%
		(4) 情報が外部に漏れないよう安全管理体制をしっかりと整えることを、医療・健康情報を二次利用する企業などに義務付ける	1 不安がなくなる	9.6%	21.2%	10.6%	13.8%
			2 ほほ不安がなくなる	31.0%	36.4%	26.1%	31.2%
			3 やや不安が減る	37.0%	23.4%	28.4%	29.6%
4 変わらない	22.4%		19.1%	34.8%	25.4%		
(5) 不適切に医療・健康情報が二次利用されていると思われる場合に、政府などの公的な機関が苦情・相談の受付や調査、指導などを行う	1 不安がなくなる	9.2%	20.8%	9.4%	13.2%		
	2 ほほ不安がなくなる	28.2%	32.7%	26.7%	29.2%		
	3 やや不安が減る	38.6%	24.5%	25.9%	29.7%		
	4 変わらない	24.0%	21.9%	38.0%	28.0%		
Q24	あなたが最後に在籍、または現在在学中の学校は、次のどれですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。	その相手と一緒に生活していますか。それぞれあてはまるものを1つだけ選択してください。					
		1 中学校	2.3%	0.8%	14.3%	5.8%	
		2 高校	24.2%	19.8%	53.7%	32.6%	
		3 短大・高専・専門学校	25.1%	24.1%	0.0%	16.4%	
		4 大学	44.8%	38.6%	21.4%	34.9%	
		5 大学院	3.6%	16.7%	10.6%	10.3%	
Q25	あなたは現在、以下のような人がありますか。また、いる方は、その相手と一緒に生活していますか。それぞれあてはまるものを1つだけ選択してください。	(1) 配偶者・パートナー					
		1 一緒に生活している	55.2%	64.5%	59.6%	59.7%	
		2 一緒に生活していない	5.4%	2.6%	8.2%	5.4%	
		3 いない	39.4%	32.9%	32.2%	34.8%	
		(2) 2歳以下の乳児	1 一緒に生活している	6.5%	8.8%	5.8%	7.0%
			2 一緒に生活していない	4.0%	1.6%	4.1%	3.2%
			3 いない	89.5%	89.6%	90.1%	89.8%
		(3) 介護が必要な人	1 一緒に生活している	3.7%	3.4%	2.4%	3.2%
			2 一緒に生活していない	10.6%	3.2%	9.6%	7.8%
			3 いない	85.7%	93.4%	88.0%	89.1%
		(4) あなたが怪我や病気で介護が必要になったときに、介護してくれそうな人	1 一緒に生活している	33.4%	23.9%	21.5%	26.3%
			2 一緒に生活していない	8.6%	6.2%	14.4%	9.7%
			3 いない	58.0%	69.9%	64.1%	64.0%
		(5) 3歳以上18歳未満の子供	1 一緒に生活している	17.0%	33.2%	21.2%	23.8%
			2 一緒に生活していない	3.5%	1.4%	5.7%	3.5%
			3 いない	79.4%	65.4%	73.2%	72.7%
		(6) 18歳以上の子供	1 一緒に生活している	16.0%	11.8%	9.7%	12.5%
			2 一緒に生活していない	12.8%	12.0%	20.8%	15.2%
			3 いない	71.2%	76.2%	69.4%	72.3%
		(7) 兄弟姉妹	1 一緒に生活している	10.0%	7.0%	3.7%	6.9%
			2 一緒に生活していない	52.1%	22.6%	53.5%	42.7%
			3 いない	37.9%	70.4%	42.8%	50.4%
		(8) 65歳以上の高齢者	1 一緒に生活している	23.2%	11.5%	7.7%	14.1%
			2 一緒に生活していない	36.1%	14.5%	39.6%	30.1%
3 いない	40.7%		74.0%	52.7%	55.8%		
Q26	あなたの現在のお仕事についておうかがいします。あなたはふたどりのような仕事をなさっていますか。次のうち、あてはまるものを1つだけ選択してください。	1 フルタイムで働いている					
		1 フルタイムで働いている	51.2%	49.5%	49.3%	50.0%	
		2 パートタイム、アルバイト	15.2%	12.9%	14.3%	14.1%	
		3 専業主婦(夫)	18.1%	9.7%	11.8%	13.2%	
		4 学生・生徒	3.7%	2.1%	7.0%	4.3%	
		5 無職	11.8%	25.8%	17.6%	18.4%	
Q27	あなたは、現在ご自分のことを健康だと思えますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。	1 健康だと思う					
		1 健康だと思う	12.2%	39.8%	23.0%	25.0%	
		2 まあ健康だと思う	61.9%	45.0%	47.9%	51.6%	
		3 あまり健康ではないと思う	20.0%	12.1%	18.9%	17.0%	
		4 健康ではないと思う	5.9%	3.1%	10.1%	6.4%	
Q28	あなた、もしくはあなたのご家族で、以下のような方はいらっしゃいますか。当てはまるものを全て選択してください。	1 現在、医師に相談している、あるいは医師に相談する必要があるような持病がある					
		1 現在、医師に相談している、あるいは医師に相談する必要があるような持病がある	16.1%	23.4%	27.2%	22.2%	
		2 現在、通院している	29.5%	9.7%	20.6%	20.0%	
		3 医療薬品(サプリメントを除く)を服用している	15.4%	37.0%	33.4%	28.6%	
		4 サプリメントを服用している	24.1%	33.9%	20.7%	26.2%	
		5 現在、医師に相談している、あるいは医師に相談する必要があるような持病がある	15.2%	18.5%	14.3%	16.0%	
		6 現在、通院している	23.7%	8.6%	10.8%	14.4%	
		7 現在、医師に相談している、あるいは医師に相談する必要があるような持病がある	11.7%	15.5%	18.2%	15.1%	
		8 現在、通院している	15.2%	7.9%	15.9%	13.0%	
		9 あてはまるものはない	34.9%	32.9%	34.7%	34.2%	

Q29 お宅の世帯年収（税込み）は、次のうちどれにあたりますか。次のうち、あてはまるものを1つだけ選択してください。					
世帯収入（日本） ※欠損を除くNは、1,174 ※欠損のNは、1,550	1 200万円未満	11.1%	-	-	-
	2 200万円以上～400万円未満	23.9%	-	-	-
	3 400万円以上～600万円未満	26.3%	-	-	-
	4 600万円以上～800万円未満	19.9%	-	-	-
	5 800万円以上～1,000万円未満	9.6%	-	-	-
	6 1,000万円以上～1,200万円未満	4.6%	-	-	-
	7 1,200万円以上～1,400万円未満	2.4%	-	-	-
	8 1,400万円以上	2.1%	-	-	-
	欠損 わからない/答えたくない	24.3%	-	-	-
世帯収入（アメリカ） ※欠損を除くNは、1,455 ※欠損のNは、1,550	1 \$ 9,999 以下	-	3.3%	-	-
	2 \$ 10,000 - \$ 19,999	-	8.5%	-	-
	3 \$ 20,000 - \$ 29,999	-	9.1%	-	-
	4 \$ 30,000 - \$ 39,999	-	10.9%	-	-
	5 \$ 40,000 - \$ 49,999	-	9.0%	-	-
	6 \$ 50,000 - \$ 59,999	-	9.4%	-	-
	7 \$ 60,000 - \$ 69,999	-	7.7%	-	-
	8 \$ 70,000 - \$ 79,999	-	8.0%	-	-
	9 \$ 80,000 - \$ 89,999	-	4.8%	-	-
	10 \$ 90,000 - \$ 99,999	-	7.2%	-	-
	11 \$ 100,000 - \$ 119,999	-	9.6%	-	-
	12 \$ 120,000 - \$ 139,999	-	4.1%	-	-
	13 \$ 140,000 - \$ 159,999	-	3.6%	-	-
	14 \$ 160,000 以上	-	4.7%	-	-
欠損 わからない/答えたくない	-	6.1%	-	-	
世帯収入（ドイツ） ※欠損を除くNは、1,380 ※欠損のNは、1,550	1 € 9,999 以下	-	-	9.0%	-
	2 € 10,000 - € 19,999	-	-	12.7%	-
	3 € 20,000 - € 29,999	-	-	14.8%	-
	4 € 30,000 - € 39,999	-	-	16.8%	-
	5 € 40,000 - € 49,999	-	-	13.8%	-
	6 € 50,000 - € 59,999	-	-	8.6%	-
	7 € 60,000 - € 69,999	-	-	8.3%	-
	8 € 70,000 - € 79,999	-	-	5.7%	-
	9 € 80,000 - € 89,999	-	-	3.3%	-
	10 € 90,000 - € 99,999	-	-	2.8%	-
	11 € 100,000 以上	-	-	4.2%	-
欠損 わからない/答えたくない	-	-	11.0%	-	

